

昭島市教育委員会の事務事業
に関する点検及び評価報告書
(令和4年度分)

令和5年9月

昭島市教育委員会

目 次

ページ

第1章 本報告書の作成にあたって

- 1 点検・評価の実施方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 昭島市教育委員会の教育目標及び基本方針・・・・・・・・ 3
- 3 昭島市総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

第2章 教育委員会の組織及び活動状況

- 1 教育委員会の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2 教育委員会事務事業を主管する組織・・・・・・・・・・ 8
- 3 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 4 教育委員会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

第3章 主要施策の点検及び評価

- 評価シートの見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

学校教育の推進

- 基本施策1 確かな学力の定着・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 基本施策2 豊かな心の醸成・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- 基本施策3 健やかな体の育成・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- 基本施策4 輝く未来に向かって・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

生涯学習の推進

- 基本施策1 文化芸術活動の促進・・・・・・・・・・・・ 55
- 基本施策2 文化財の保護・調査・活用・・・・・・・・ 62
- 基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興・・・・ 66
- 基本施策4 図書館活動の充実・・・・・・・・・・・・ 72
- 基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進・・・・・・・・ 78

第4章 点検及び評価に関する外部評価員からの意見・・・・・・・・ 85

第5章 資料

- 参考資料一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90

第1章 本報告書の作成にあたって

I 点検・評価の実施方針

I 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図るとともに教育委員会活動の透明性をより高め説明責任を果たすため、毎年、自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に報告し、公表することが義務付けられています。

昭島市教育委員会では、教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、更なる教育活動の推進に向けた『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』を策定しました。この計画に基づく教育施策及び事業について、学識経験を有する方（以下「外部評価員」という。）の知見を活用し、点検評価を行いました。

この報告書において課題とされた事項について、更に検討を加え、昭島市の更なる教育活動の推進に向け、学校教育、生涯学習の充実に努めてまいります。

II 点検・評価報告書の見直し

点検・評価報告書は、「効果的な教育行政の推進」と「市民への説明責任を果たすこと」を目的として作成しています。PDCAサイクルを意識して、着実な進行管理のもと、令和4年度から始まった新たな『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』の実効性を高めていくことを目指しています。

また、令和4年度より新たな『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』となったことを受け、令和4年度（令和5年度作成）の報告書から、次のとおり実施方法を変更しました。

III 実施方法

- ① 『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』に掲載している施策のうち、令和4年度（以下「評価対象年度」という。）における主な取組と施策を主管課で選出し、点検・評価対象とする。
- ② 評価対象年度における実績と課題を総括するとともに、評価基準を設け、分かりやすく記載し、次年度の取組の方向性を示すこととする。
- ③ 教育委員会が委嘱した外部評価員の意見を付す。
- ④ 教育委員会定例会にて協議する。
- ⑤ 本報告書は、市議会（厚生文教委員会）へ報告し、市ホームページなどでも公表する。

2 昭島市教育委員会の教育目標及び基本方針

昭島市教育委員会は、市民憲章と人間尊重の精神を基調とした教育を推進する。

子どもたちが常に心身ともに健康で生きがいを持ち、創造性に富み、社会の一員としての自覚を有し、多様性を認め合い、人間性豊かな市民として成長することを目指し、その実現に努める。

学校教育においては、学校、家庭、地域の密接な連携のもと、子どもたちが生涯を通して未来社会の変化に対応できるよう、自ら考え判断して行動する力を培い、国際的視野を広げ、豊かな心と健やかな体をはぐくみ、個性を生かすための教育を推進する。

社会教育においては、地域の文化、教育、スポーツ活動を通して市民誰もが、あらゆる機会に、生きる喜び、学ぶ楽しさを得られ、生涯にわたって主体的に学び続けることができ、市民相互と地域のつながりを育てていく生涯学習社会の実現を目指す。

子どもから高齢者までが生涯にわたっていきいきと学習できる環境の充実を図り、もって豊かな文化の創造とふるさと昭島を愛する心を育て、且ついのちの大切さや環境との共生を考え、ひろく国際社会に貢献できる人材の育成を図る。

【令和4（2022）年1月20日昭島市教育委員会決定】

【学校教育の目標及び基本方針】

1 目標

教育委員会は、市民憲章と人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童・生徒を育成します。また、持続可能な社会づくりに貢献する資質・能力を育むため、全教育活動にSDGsの目標に関連させた学習を展開し、学校・家庭・地域の密接な連携のもと、ふるさと昭島の自然や文化を愛し、社会に主体的に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成を目指します。

2 基本方針

教育委員会は、日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき、人権尊重の理念を正しく理解し、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神を養うための教育を実施するとともに、学習指導要領の理念である「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、本市の教育振興基本計画に基づき教育を推進する4つの施策、「確かな学力の定着」「豊かな心の醸成」「健やかな体の育成」「輝く未来に向かって」を推進します。

学校は、本目標及び基本方針に基づいて、それぞれが立案する教育推進計画の実現に向けて教育活動を推進します。

○確かな学力の定着

- ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度を育成するため、ICTを効果的に活用するなど、主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善と、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を図ります。
- ・児童・生徒の発達段階を踏まえ、個に応じた指導を充実させるとともに、児童・生徒の学習習慣の確立を図ります。

○豊かな心の醸成

- ・自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、多様な価値観を基に自己の生き方を深められるよう人権教育、道徳教育や体験的な学習を充実させ、児童・生徒の豊かな心を育成します。
- ・児童・生徒の健全育成を図るための取組を推進し、教育相談体制の充実を図ります。

○健やかな体の育成

- ・児童・生徒が健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指すよう、生涯にわたって運動に親しむ態度や関心・意欲を高める取組を推進し、健やかな体の育成を図ります。
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるよう、食育の取組を推進します。

○輝く未来に向かって

- ・義務教育を円滑にスタートさせるため、就学前教育との連携の充実と、義務教育9年間を見通した育てたい児童・生徒像に基づいた小・中学校の連携を図ります。
- ・国際社会において活躍できるグローバルな人材の育成を図るため、伝統・文化に関する教育、環境教育、国際理解教育を推進します。
- ・社会に開かれた教育課程を通して学校の教育力の向上を図るとともに、キャリア教育を推進し、将来、児童・生徒が自立できる基礎を培う指導の充実を図ります。

【生涯学習推進の目標及び基本方針】

1 目標

昨今の少子高齢化、高度な情報化、グローバル化の進展により、市民を取り巻く生活環境が、急激に変化する中、人々のライフスタイルや価値観も多様化し、日常生活全般にわたる様々な課題が挙げられています。特に、人生100年時代には、SDGsの理念である“誰一人取り残さない”を基本に、高齢者から若者まですべての人々に活躍の場があり、元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことができる社会をつくる必要があります。

そのためには、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を生活や地域での活動に生かすことができる生涯学習社会の実現へ向けて、市民それぞれの能力や必要性に応じ、「だけれども、いつでも、どこでも」気軽に学習し、互いにふれあい、家庭や地域の教育力を高める多様な学習活動をはじめ、スポーツ、文化芸術など市民の自主性を尊重した生涯学習を推進する必要があります。このような学びを推進するための目標を「市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習」と定めます。

2 基本方針

教育委員会は、市民の生涯学習を推進するための機関として、学習のきっかけづくりから、学習活動の支援、様々な生活課題の解決に向けた自主的な学習、更に文化芸術の振興、スポーツ活動への支援など、市民それぞれのニーズに応じた学習に必要な環境整備を図る必要があります。

そのため、市民の自己実現を求める多様なニーズを的確に把握しながら、市長部局や教育機関をはじめ、関係行政諸機関・民間活動諸団体との連携を図り、昭島市総合基本計画に基づき総合的かつ体系的に実施します。

施策については、「文化芸術活動の促進」、「文化財の保護・調査・活用」、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「図書館活動の充実」、「生涯を通じた学習活動の推進」の5つの施策を推進します。

○文化芸術活動の促進

誰もが文化芸術を身近に接する機会や活動する場と機会の充実に努めます。

多様で幅広い分野との連携を図りながら文化芸術を中心とした地域の活性化を推進します。

○文化財の保護・調査・活用

地域の暮らしのなかで守られ、継承されてきた文化財を、先人の知と技の結集と捉え、貴重な地域文化として活用するとともに、その調査・研究と保護・保存の推進を図ります。

○スポーツ・レクリエーションの振興

市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツやレクリエーションに親しみ、交流を深め、心身ともに健康で明るく豊かな生活を送れる施策を推進します。

○図書館活動の充実

本と情報を仲立ちとして人が集い、つながり、新たな価値を創造する場となるよう、多様な情報・資料の提供に努めるとともに、図書館を拠点とした活動の支援を図ります。

○生涯を通じた学習活動の推進

誰もが生涯にわたり自分の意思で自由に学ぶことができる環境を整え、市民相互と地域のつながりと絆を育てます。

基本施策

【学校教育の推進】

基本施策1 確かな学力の定着

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
- 2 理数教育の充実
- 3 読書活動の推進と言語能力の育成
- 4 個に応じた支援の充実

基本施策2 豊かな心の醸成

- 1 人権教育の推進
- 2 道徳教育の充実
- 3 体験活動の充実
- 4 健全育成の推進

基本施策3 健やかな体の育成

- 1 体力向上の推進
- 2 学校給食・食育の充実
- 3 学校保健安全の推進

基本施策4 輝く未来に向かって

- 1 幼・保・小・中が連携した教育の充実
- 2 日本の伝統・文化に関する教育の充実
- 3 学校、家庭、地域・社会との連携・協働
- 4 学校の教育力の向上
- 5 教育環境の整備
- 6 情報教育の推進
- 7 環境教育の推進
- 8 国際理解教育の推進
- 9 キャリア教育の推進

【生涯学習の推進】

基本施策1 文化芸術活動の促進

- 1 文化芸術活動への支援
- 2 文化芸術に接する機会の充実
- 3 多様な主体と連携した文化芸術活動の促進

基本施策2 文化財の保護・調査・活用

- 1 文化財の保護・保存・調査・研究の推進
- 2 文化財の活用と継承の支援

基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興

- 1 スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進
- 2 スポーツ・レクリエーション環境の整備
- 3 人材の育成・地域交流の促進

基本施策4 図書館活動の充実

- 1 多様な情報・資料の提供
- 2 図書館利用の促進
- 3 図書館を拠点とした活動の支援
- 4 誰一人取り残さない環境の整備

基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進

- 1 学習機会の提供
- 2 学習活動の支援
- 3 学習成果の活用

3 昭島市総合教育会議

「地方教育行政組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地域の実情に応じ、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとなりました。

令和3年12月16日に開催された総合教育会議での協議を踏まえ、基本構想における、まちづくりの理念である「人間尊重」と「環境との共生」のもと、「教育に関する大綱」を定めました。

この大綱により、昭島市教育振興基本計画の確実な実現に努めます。

昭島市教育に関する大綱

基本構想における、まちづくりの理念である「人間尊重」と「環境との共生」のもと、本市の教育に関する大綱を次のとおり定めます。

- 市民憲章と人間尊重の精神を基調とした教育を推進します。
- 子どもたちが常に心身ともに健康で生きがいを持ち、創造性に富み、社会の一員としての自覚を有し、多様性を認め合い、人間性豊かな市民として成長することを目指し、その実現に努めます。
- 学校教育においては、学校、家庭、地域の密接な連携のもと、子どもたちが生涯を通して未来社会の変化に対応できるよう、自ら考え判断して行動する力を培い、国際的視野を広げ、豊かな心と健やかな体をはぐくみ、個性を生かすための教育を推進します。
- 社会教育においては、地域の文化、教育、スポーツ活動を通して市民誰もが、あらゆる機会に、生きる喜び、学ぶ楽しさを得られ、生涯にわたって主体的に学び続けることができ、市民相互と地域のつながりを育てていく生涯学習社会の実現を目指します。
- 子どもから高齢者までが生涯にわたっていきいきと学習できる環境の充実を図り、もって豊かな文化の創造とふるさと昭島を愛する心を育て、且ついのちの大切さや環境との共生を考え、ひろく国際社会に貢献できる人材の育成を図ります。

第2章 教育委員会の組織及び活動状況

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

1 教育委員会の構成

令和5年3月31日現在

職名	氏名	任期期間	期数
教育長	山下 秀男	平成4年4月1日から 令和7年3月31日まで	2期
委員 (教育長職務代理)	紅林 由紀子	令和3年6月24日から 令和7年6月23日まで	6期
委員	氏井 初枝	令和2年4月1日から 令和6年3月31日まで	2期
委員	白川 宗昭	平成31年4月8日から 令和5年4月7日まで	2期
委員	松本 芳之	令和4年12月25日から 令和8年12月24日まで	1期

年度中に退任した教育委員

委員	石川 隆俊	平成30年12月25日から 令和4年12月24日まで	5期
----	-------	-------------------------------	----

2 教育委員会事務事業を主管する組織

教育委員会

※令和4年4月1日現在

部	課	係	主な分掌事務
学校教育部	教育総務課	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の会議に関すること。 条例、規則及び規程に関すること。 予算及び経理に関すること。 事務局及び課内庶務に関すること等
		学務係	<ul style="list-style-type: none"> 学齢児童及び学齢生徒の就学並びに児童生徒及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。 通学区域に関すること。 学級編制に関すること。 児童及び生徒に係る就学奨励に関すること等
		施設係	<ul style="list-style-type: none"> 教育施設の建設計画に関すること。 教育機関の設置、管理及び廃止の手続きに関すること。 教育施設の新営工事及び維持修繕工事に関すること。 教育施設関係の補助金に関すること等
		GIGAスクール推進担当	<ul style="list-style-type: none"> 学校の電子計算組織の管理及び運用に関すること。
	指導課	教職員係	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の任免の内申その他人事に関すること。 教職員の服務に関すること。 教職員の給与、旅費、退職手当等に関すること。 教職員の福利厚生に関すること等

部	課	係	主 な 分 掌 事 務	
学 校 教 育 部	指導課	指導係	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事務予算に関すること。 ・教育計画事業の推進に関すること。 ・教科書採択に関すること。 ・教育振興基金に関すること等 	
		特別支援教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の推進に関すること。 ・教育相談及び適応指導に関すること。 ・就学、転学等の相談に関すること。 ・巡回相談に関すること等 	
		指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成、実施に関すること。 ・教育施策の企画、実施に関すること。 ・校内研究等、教職員の研修に関すること。 ・学校教育に関する専門的事項の指導に関すること。 	
	学校給食課	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の計画に関すること。 ・学校給食共同調理場において調理される学校給食に係る次の事務に関すること。 (1) 献立に関すること。 (2) 調理に関すること。 (3) 食品の管理に関すること。 (4) 衛生管理に関すること ・配送に関すること。 ・学校給食運営審議会に関すること。 ・業者登録に関すること等 	
		収納係	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費に関すること。 ・給食物資の支払いに関すること。 	
		自校給食担当	<ul style="list-style-type: none"> ・給食調理施設を有する学校において調理される学校給食に係る事務に関すること。 	
		給食施設整備担当	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の施設整備に関すること。 	
		給食施設電気設備担当	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の施設整備に関すること。 	
	生 涯 学 習 部	社会教育課	社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育及び生涯学習の総合調整に関すること。 ・社会教育及び生涯学習に係る行政相談に関すること。 ・社会教育関係団体の育成及び援助に関すること等
		スポーツ振興課	スポーツ振興係	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員に関すること。 ・生涯スポーツの推進に関すること。 ・関係団体との連携及び協働に関すること。 ・スポーツの指導者の研修に関すること。 ・総合スポーツセンターの管理及び運営に関すること等
アキシマ エンス 管理課		管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務の評価・モニタリングに関すること。 ・図書の購入及び廃棄の決定に関すること。 ・学校等市内関係機関及び団体との連携調整に関すること。 ・図書館協議会に関すること。 	
		文化財係	<ul style="list-style-type: none"> ・市史及び文化財の保護、調査に関すること。 ・郷土資料室の管理運営に関すること。 	
市民会館 ・公民館		管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会館・公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 ・市民会館・公民館の利用承認並びに使用料の徴収、付属設備等の使用料の免除及び還付に関すること。 ・市民会館・公民館の庶務に関すること。 ・市民会館の自主文化事業に関すること等 	
		事業係	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会の庶務に関すること。 ・各対象別、課題別講座等の開設に関すること。 ・討論会、展示会、音楽会、美術展その他の集会に関すること。 ・公民館事業に係る情報収集及び提供に関すること等 	

3 教育委員会の会議

I 総合教育会議（企画政策課所管）

開催日	議 題
令和5年3月16日	・中学校部活動の地域移行・地域連携について

II 教育委員会の活動情報

① 教育委員会開催状況

定例会：12回 臨時会：なし

② 審議事項

ア 議決事項（議案） 23件

イ 協議事項（協議題） 4件

ウ 報告事項（説明あり） 89件

エ 報告事項（資料配布のみ） 28件

※説明を省略し、資料配布のみとした案件

※会議の付議案件と結果は下表のとおり。

開催日	議案 番号等	件名	結果
令和4年 4月21日	12号	昭島市学校給食費会計監査役員の委嘱について	可決
5月19日	13号	令和4年度昭島市青少年教育協力者感謝状被贈呈者について	可決
6月10日	14号	昭島市青少年委員の委嘱について	可決
7月21日	15号	昭島市学校給食運営審議会委員の委嘱について	可決
	16号	昭島市学校給食費会計監査役員の委嘱について	可決
	17号	昭島市民図書館協議会委員の委嘱について	可決
8月10日	18号	令和5年度昭島市立学校で使用する教科用図書（特別支援学級）の採択について	可決
	協議	昭島市教育委員会の事務事業に関する点検及び評価報告書（令和3年度分）について	承認
9月15日	19号	昭島市社会教育委員の委嘱について	可決
	20号	昭島市公民館運営審議会委員の委嘱について	可決
10月20日	21号	昭島市教育委員会表彰被表彰者について	可決
	22号	昭島市奨学金等支給条例に基づく奨学生の決定について（非公開）	可決
	23号	昭島市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決
	協議	文化財の指定に関する諮問について	承認
11月17日	24号	昭島市指定文化財の指定について	可決

開催日	議案 番号等	件名	結果
12月16日	25号	令和5年度昭島市立学校における教育課程編成基準について	可決
	協議	水泳授業における民間屋内プール施設の活用について	承認
	協議	令和4年度昭島市立学校卒業式における告辞及び令和5年度昭島市立学校入学式におけるお祝いの言葉について	承認
令和5年 1月19日	1号	昭島市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則	可決
2月10日	2号	令和5年度昭島市公立学校長等の任命に関する内申について (非公開)	可決
	3号	昭島市学校運営協議会規則	可決
3月16日	4号	昭島市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則	可決
	5号	昭島市民会館・公民館処務規則の一部を改正する規則	可決
	6号	昭島市立学校職員の兼業等及び教育公務員の教育に関する兼職等に関する事務取扱規程の一部を改正する訓令	可決
	7号	昭島市教育委員会事務局の標準的な職を定める規程の一部を改正する訓令	可決
	8号	昭島市教育委員会表彰被表彰者について	可決
	9号	令和5年度昭島市立学校の教育課程の受理について	可決

4 教育委員会の活動

I 教育委員の活動

教育委員は、学校の状況を把握し、教職員と情報共有するために、学校訪問や学校行事への出席のほか、校長会との意見交換会を開催しています。また、東京都教育委員会や近隣市との情報交換、情報共有を行うほか、研修会へ参加し、識見を高め、教育施策の決定等への反映に努めています。

(1) 教育委員の学校訪問、校長会との意見交換会、学校行事の参加

事業名	実施日	訪問先
校長・副校長・教職員辞令伝達式、 臨時校長会	4月1日	市役所 市民ホール他
入学式	4月6日・7日	各小・中学校
学校訪問	5月19日	つつじが丘小学校、昭和中学校
学校訪問	10月20日	成隣小学校、拝島第三小学校
昭島市教育懇談会	12月3日	清泉中学校
特別支援学級合同学習発表会	令和5年1月14日	KOTORIホール
市立小中学校長との情報交換会	1月19日	市役所 市民ホール
昭島市研究指定校研究発表会	2月17日・22日	富士見丘小学校、つつじが丘小学校
卒業式	3月17日・24日	各小・中学校

その他、各校の音楽会、展覧会及び運動会などに参加しています。

(2) 教育委員の教育委員会関係行事への参加

事業名	実施日	開催場所
昭島市教育委員会表彰式	4月3日	市役所 市民ホール
昭島市育英会	5月19日	市役所 203会議室
「未来をひらく」発表会	9月10日	市役所 市民ホール
昭島市教育委員会表彰式	11月3日	市役所 市民ホール
昭島市はたちのつどい～20celebration～	令和5年 1月9日	フォレスト・イン昭和館
食育シンポジウム	1月19日	市役所 市民ホール

(3) 教育委員の会議

事業名	実施日	訪問先
東京都市町村教育委員会連合会 令和4年度第1回常任理事会及び理事会	4月22日	東京自治会館 第7会議室 ほか
東京都市町村教育委員会連合会第66回定期総会	5月10日	書面開催
関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会	5月27日	書面開催
東京都市町村教育委員会連合会 令和4年度第1回研修推進委員会	6月29日	東京自治会館 第7会議室
東京都市町村教育委員会連合会 令和4年度第2回研修推進委員会	8月1日	東京自治会館 第7会議室
東京都市町村教育委員会連合会 令和4年度第2回常任理事会及び理事会	8月18日	書面開催
令和4年度第3回常任理事会及び理事会	令和5年 1月12日	東京自治会館 第8会議室 ほか

(4) 教育委員の研修

事業名	実施日	内 容
関東甲信越静市町村教育委員会連合会研修会	令和4年 5月27日 (書面開催)	演題 学校における働き方改革について 講師 文部科学省初等中等教育局財務課
教育施策連絡協議会	オンライン配信(4月22日 ~5月31日) ※5月20日 市役所にて配信 上映会開催	演題 ヤングケアラーの理解と支援について 講師 立正大学社会福祉学部 教授 森田 久美子 氏
東京都市教育長会研修会	7月25日	演題 南極から学ぶ地球環境 講師 国立極地研究所 宙空圏研究グループ 教授 堤 雅基 氏
市町村教育委員会教育長・ 教育委員研究協議会	9月8日	・分科会形式でグループ協議を実施 1 いじめ対策・不登校支援について 2 教育の情報化について 3 地域と学校の連携・協働について 4 部活動のあり方について
東京都市町村教育委員会連 合会第1回研修会	10月7日	演題 インターネットと人とのかかわり合い~突 然、僕は殺人犯にされた~ 講師 スマイリーキクチ 氏
東京都市町村教育委員会連 合会第4ブロック研修会	12月15日	TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS 視察
東京都市町村教育委員会連 合会第2回理事研修会	令和5年 1月12日	演題 部活動の地域移行と地域スポーツ・文化芸 術環境の整備について 講師 スポーツ庁 地域スポーツ課 課長補佐 小久保 智史 氏
東京都市町村教育委員会連 合会第2ブロック研修会	2月1日	演題 子どもたちの体づくりや障がい者スポー ツについて オリンピック・パラリンピック教育のレ ガシーについて 講師 スポーツジャーナリスト・ 大阪芸術大学教授 増田 明美 氏
東京都市町村教育委員会連 合会第2回理事研修会	2月28日	講演 明日を創る教育 講師 早稲田大学大学院教育学研究科客員教授 遠藤 真司 氏

II 教育委員会の活動

(1) 教育委員会表彰

昭島市教育委員会では、昭島市の教育文化の振興発展に貢献し、その功績の顕著な方及び他の模範となる成績又は行為のあった方々に対し、毎年11月3日（文化の日）及び4月第一日曜日に表彰を行っています。

表彰式		表彰対象事由および表彰者数	
第1回	令和4年 11月3日	<児童・生徒等の表彰>	○ 水 泳 : 小学生1名、中学生2名 ○ 空 手 : 小学生1名、中学生2名 ○ スノーボード : 中学生1名 ○ 囲 碁 : 中学生1名
		<職員の表彰>	○ 前昭島市立学校歯科医 : 2名 ○ 前昭島市立学校薬剤師 : 1名 ○ 前学校給食運営審議会委員 : 1名 ○ 前社会教育委員 : 2名 ○ 前公民館運営審議会委員 : 3名
第2回	令和5年 4月2日	<児童・生徒等の表彰>	○ ポスター : 中学生2名 ○ 陸 上 : 中学生1名
		<個人の表彰>	○ カヌー : 1名 ○ ロードレース : 1名
		<職員の表彰>	○ 昭島市立学校長 : 4名

(2) 教育・青少年だより「エール」発行状況

令和3年度まで発行していた「あきしまの教育」「あきしまの青少年」を統合し、令和4年度より教育広報誌として、「教育・青少年だより エール」を発行しています。「エール」は、子どもたちの様々な挑戦に「エール＝応援」を送りたいという想いと昭島市のシンボル「くじら」の英語「ホエール」から名付けられました。

発行部数	42,570部
規格	A4版 8ページ(3回)、4ページ(2回)
発行月	5月、7月、10月、12月、3月
配布先	児童・生徒及び保護者、市公共施設 ほか



上記配布先のほかホームページでも公開しています。

トップページ > 子育て・教育 > 教育委員会 > 教育・青少年だより「エール」

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/020/020/140/040/index.html>

▲教育・青少年だより「エール1号」

第3章 主要施策の点検及び評価

令和4年度より新たな『昭島市教育振興基本計画(令和4年度～令和8年度)』となったことを受け、令和4年度(令和5年度作成)の報告書から、実施方法を変更しました。

第3章 主要施策の点検及び評価では、『昭島市教育振興基本計画(令和4年度～令和8年度)』に掲載している施策のうち、評価対象年度における主な取組と施策を主管課で選出し、点検・評価対象としています。評価対象年度における実績と課題を総括するとともに、評価基準を設け、分かりやすく記載し、次年度の取組の方向性を示すこととしました。

また、各施策ごとに外部評価員にいただいた総合評価と意見を掲載しました。

評価シートの見方

基本施策Ⅰ 確かな学力の定着	
基本施策Ⅰ-Ⅰ	担当課 指導課、教育総務課、学務担当
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進	
施策の方向性	
『昭島市教育振興基本計画(令和4年度～令和8年度)』より、施策の方向性を掲載しています	

主な取組【担当課】	取組実績
1 評価対象年度における主な取組を選定しています	評価対象年度の取組実績を記載しています
2	

自己評価	評価理由
A… 施策の方向性以上の成果がでている	教育委員会にて自己評価を実施し、その理由を記載しています
B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題	
評価対象年度の取組に対する主な課題を記載しています	
今後の取組の方向性	
今後の取組の方向性を記載しています	

(参考資料) 各施策・取組の評価や掲載内容に参考となる表や図、写真など資料を掲載しています

基本施策Ⅰ 確かな学力の定着

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進	各小項目の自己評価をまとめて記載しています		各小項目の掲載頁です
2 理数教育の充実			
3 読書活動の推進と言語能力の育成			
4 個に応じた支援の充実			
政策指標			
授業 児童 (児童)	『昭島市教育振興基本計画(令和4年度～令和8年度)』より、策定時の政策指標と目標値を記載し、評価対象年度の指標値を記載しています		R8年度 値 0% 0%

外部評価員による評価と意見	外部評価員	この章の意見をいただいた外部評価員の氏名
外部評価員の総合評価を5段階で評価しています	外部評価員の総合評価	
	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。	
外部評価員の意見		
外部評価員の意見を記載しています 各章の外部評価員の意見は、第4章で再掲載しています		

学校教育の推進

基本施策Ⅰ 確かな学力の定着

基本施策Ⅰ-1	担当課	指導課
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進		

<p>施策の方向性</p> <p>これからの変化の激しい時代を生き抜き、生涯にわたり主体的に学び続ける子どもたちを育成するためには、知識・技能の習得に加え、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等及び主体的に学習に取り組む態度を育むことが不可欠です。</p> <p>子どもたちにこうした資質・能力を育成していくために、全ての教員が「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る指導方法の工夫・改善に取り組むとともに、少人数指導等きめ細かな指導の充実を図ります。</p> <p>また、各学校はカリキュラム・マネジメントを通して、学校全体の取組として、質の高い「深い学び」を引き出していきます。</p>
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	教職員の研修の充実【指導課】	職層に応じて、4月に新任主幹教諭、新任主任教諭、5月に新任副校長を対象とした研修を実施した。また、初任者から3年次教諭を対象に集合研修や授業観察訪問等を実施した。
2	大学との連携による授業改善の推進【指導課】	通常の学級は武蔵野小と瑞雲中、特別支援学級（知的障害特別支援学級）は田中小と多摩辺中、特別支援教室は東小、光華小、瑞雲中において、大学教授等の有識者による授業観察を通して、個々の教員の課題を分析し、教員の資質と実践的指導力の向上に取り組んだ。また、12月には、各学校の取組の成果と課題を発表し、全校にオンラインで配信した。
3	土曜日・放課後補習の実施【指導課】	土曜日補習教室は、小学校13校が年7～9回、中学校4校が年3～6回、放課後補習教室は、小学校11校が年5～7回、中学校3校が年5～7回実施し、学力の定着を図った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	職層に応じた研修や大学との連携による取組を通じて、教員の授業改善に対する意識を高めることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
<p>主な課題</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る指導方法の更なる工夫・改善が必要である。また、ICTを効果的に活用するなどの工夫を通して、個別最適な学び、協働的な学びの実現に向けて更なる取組の充実が必要である。</p>		
<p>今後の取組の方向性</p> <p>指導課主催の研修において、学習指導要領の趣旨に基づいた内容を充実させていく。また、新しい教育課題を取り入れるなど、若手教員育成研修の内容を充実させるとともに、主幹教諭任用時研修、主任教諭任用時研修においても人材育成の観点から、必要な知識や技能、意欲、態度などを計画的に高めていけるような研修を実施する。</p>		

(参考資料)
教職員の研修一覧 ▶

研修名	研修内容	人数
新任主幹教諭研修	主幹教諭としての役割	7
新任主任教諭研修	主任教諭としての役割	8
新任副校長研修	副校長としての役割	5
初任者研修	学習指導力、生活指導力等	20
2年次研修	学習指導力、生活指導力等	24
3年次研修	外部との連携・折衝力等	24

基本施策1-2	担当課	指導課
理数教育の充実		

施策の方向性
<p>急速に技術革新する現代社会において、科学技術の分野で新たな価値を創造できる人材を育成するためには、子どもたちの理科や算数・数学への関心を高めるとともに、理数教育の一層の充実を図ることが必要です。</p> <p>各学校において、理科、算数科・数学科の授業改善を行うとともに、地域資源を活用した理科、算数科・数学科授業の充実や、理科教育推進担当教員等の活用を図ります。</p>

主な取組【担当課】		取組実績
1	地域資源の活用による授業の充実【指導課】	各学校では、それぞれの地域資源を活用した学習を計画的に実施した。光華小学校では、東京都教育委員会による地域資源・人材活用推進校として、地域資源を活用した授業づくりに取り組んだ。
2	理科教育推進担当教員等の活用【指導課】	各学校において、理科、算数・数学科における知識・技能を身に付け、それらを活用して、日常生活における様々な科学的事象や未知の課題を探究する学習を実施することができた。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校における実践を通して、児童・生徒の理科、算数・数学への関心を高めることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
各学校において、理科、算数・数学科の授業改善を行うとともに、地域資源を活用した理科、算数・数学科授業の充実や、理科教育推進担当教員等の活用が必要である。		
今後の取組の方向性		
児童・生徒の理科、算数・数学への関心を高め、理数教育の一層の充実を図るために、授業改善をする。特に、地域の人材や企業・自然などの地域資源、学生等のボランティアを活用した授業の充実、理科教育推進担当教員等を活用した、初任者研修等における実験・観察の実習を実施する。		

(参考資料)

▼〈全国学力・学習状況調査の結果〉

調査対象：全小学校6年生及び全中学校3年生
実施日：令和4年4月19日

		各教科の分析		
		教科別平均正答率		
小学校	教科	国語	算数	理科
	国平均	65.6	63.2	63.3
	都平均	69	67	65
	昭島市	63	61	63
中学校	教科	国語	数学	理科
	国平均	69.0	51.4	49.3
	都平均	70	54	51
	昭島市	68	49	49

各教科において、全国や東京都よりも平均正答率が下回っており、国語科では小・中学校共に「読むこと」、算数・数学科では「図形」、理科では「観察・実験」に特に課題が見られた。国語科では、文脈をたどりながら文書表現に着目して読む力、算数・数学科では、事柄が成り立つ理由を筋道立てて考える力、理科では、観察・実験結果について、具体的な数値を根拠に表現する力を高める必要がある。

※市や都の平均正答率は、平成29年度から整数位での公表

基本施策1-3	担当課	指導課
読書活動の推進と言語能力の育成		

施策の方向性
<p>言語能力は、全ての学習の基盤となる資質・能力です。子どもたちの語彙を豊かにし、言語能力の育成を図るには、各教科等における言語活動の充実とともに読書活動の充実を図ることが大切です。</p> <p>各学校で読書活動全体計画を作成し、学校図書館担当教員、司書教諭、学校司書及びボランティアなどが連携して、子どもたちの読書活動を一層推進します。</p> <p>また、学校図書館と市民図書館の利用を促進し、読書活動を通して豊かな感性や情緒を育み、言語能力の育成を図ります。</p>

主な取組【担当課】		取組実績
1	学校図書館、市民図書館の利用促進 【指導課】	富士見丘小学校の研究発表会において、学校図書館を活用した探究的な学習の取組について実践事例を紹介した。また、各小学校で校外学習で市民図書館を訪問し、図書館の活用について学んだ。
2	学校図書館管理システムの活用 【指導課】	学校図書館管理システムを活用し、貸出履歴に基づく図書の貸出のデータを参考にして、新たな図書の購入を行った。
3	子どもの主張意見文コンクールの開催 【指導課】	全小・中学校で取り組み、これからの昭島について考えたことを表現した。応募者数は1628編となった。委員会を2回開催し、小・中学校から各15点の入選作品を選定した。9月10日(土)に行った発表会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から来場者を制限しながら実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校において、学校図書館や市民図書館を活用した調べ学習や、児童・生徒が自己の思いを表現できるコンクールを開催することができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
学校図書館や市民図書館を活用した調べ学習による探究的な学びによる実践を、多くの学校でも計画的に取り組むことが課題である。		
今後の取組の方向性		
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書ボランティア等による読み聞かせが実施できていない状況が続いた。児童・生徒が本に親しみ、多くの本に触れる機会をより多く設けることができるよう、各学校の実情も踏まえながら計画的に読書活動を推進する。		

(参考資料)

▼学校図書館図書整備状況、貸出状況

	令和3年度		令和4年度			
	蔵書冊数	購入冊数	寄贈冊数	除籍冊数	蔵書冊数	1人あたりの貸出冊数
小学校	176,779	4,028	1,050	△ 1,899	179,958	42.1
中学校	81,681	2,444	129	△ 1,145	83,109	5.8

【第40回子どもの主張意見文コンクール】

(小学校の部)

最優秀賞「僕たちの町を『スポーツの町』に」

(中学校の部)

「食品ロスへの取り組み」



▲「未来をひらく」子どもの主張意見文コンクール入賞者

◀「第40回子どもの主張意見文コンクール作品集」

「子どもの主張意見文コンクール」の入賞作品は冊子にまとめて、入賞者や学校、関係者に配布しています。昭島市民図書館や市役所の行政資料コーナーで閲覧ができます。

基本施策1-4	担当課	指導課、学務担当
個に応じた支援の充実		

施策の方向性
<p>子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、もてる力を高め、生活や学習上の困難さを改善又は克服するためには、適切な指導及び必要な支援を行い、基礎的な学力を伸ばしていくことが必要です。</p> <p>各学校は、インクルーシブ教育の理念に基づき、障害のあるなしに関わらず、子どもたち一人ひとりの自立と社会参加に向けた効果的な指導・支援の充実を図るために、全ての教員の特別支援教育への理解を深め、授業のユニバーサルデザイン化、個別指導など、多様な指導方法の工夫を図ります。</p> <p>また、経済的な理由により就学困難な子どもたちの保護者に、必要な援助を行い、教育の機会均等の保障に努めます。</p>

主な取組【担当課】		取組実績
1	特別支援教育の啓発活動の推進 【指導課】	共生社会を目指し、特別支援教育の理解が保護者や市民に広がるよう、市民向け講演会として、7月に明星大学 教授 星山麻木氏による「みんな違って大丈夫」、10月に東京西法務少年支援センター センター長の岩崎智之氏による「子どもを育む支援・働き掛け」の講演を行った。
2	特別支援教室における指導の充実 【指導課】	東小学校、光華小学校、瑞雲中学校の特別支援教室において、大学の客員教授による特別支援教室巡回指導教員を対象とした研修を各校年10回実施し、児童・生徒の実態把握を基にした授業づくりについて学んだ。
3	特別支援学級における指導の充実 【指導課】	田中小学校及び多摩辺中学校の知的障害特別支援学級において、教職大学院准教授による特別支援学級担任を対象とした研修を各校年6回実施し、個別最適な学びによる授業改善について学んだ。
4	日本語指導の実施 【指導課】	各学校からの依頼を踏まえて、日本語を母語としない児童・生徒に、日本語指導員を児童・生徒一人につき計35回派遣し、日本語の基礎や学校での生活について指導した。
5	就学援助の実施 【学務担当】	小学生835名、中学生463名に対し、1億1,222万8,614円の援助を行った。(援助率は小学校14.9%、中学校18.0%)また、給付型奨学金の定員数及び支給額を拡充し、高等学校等入学予定者9名に合計72万円の入学準備金と、昨年度までに採用した奨学生22名に合計300万1,700円の奨学金を給付した。
6	特別支援教育 就学奨励の実施 【学務担当】	特別支援学級や通級指導教室に在籍する小学生53名、中学生28名に対し、379万7,860円の就学奨励費の支給を行った。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	特別支援教育に関する市民向け講演会を実施し、理解・啓発を推進できたため。また、特別支援教育に係る教員研修を実施し、授業力向上を図ることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
特別支援教室及び特別支援学級教員の更なる授業力向上が課題である。今年度の研修の成果を踏まえ、より良い授業実践を行っていく。また、日本語指導を必要とする児童・生徒を把握し、早期に日本語指導員による指導につなげていく。		

今後の取組の方向性

共成社会の実現に向けて、引き続き市民のニーズに応じた内容の講演会を実施していく。また、特別支援教室及び特別支援学級の教員を対象とした研修では、大学教授などの専門性の高い講師による講義を実施し、参加者を広げる工夫を行っていく。

(参考資料)

▼特別支援教育に関する市民向け講演会参加人数

開催日	講師	事業名	参加人数
7月19日	明星大学 教授 星山 麻木氏	みんなと違って大丈夫 ～虹色なこどもの発達を理解する～	64
10月29日	東京西法務少年支援センター センター長 岩崎 智之氏	子どもを育む支援・働き掛け ～発達障害を中心にして～	44

▼日本語指導員による指導を受けている児童・生徒数

言語	小学校	中学校
中国語	4	2
英語	6	2
ネパール語	3	
ベトナム語	2	
タイ語	1	
タガログ語	1	

▼就学援助費支給状況【取組5 就学援助の実施】

支給項目	小学校			中学校		
	支給児童数	支出額	1人平均額	支給生徒数	支出額	1人平均額
学用品費・通学用品費	783	9,830,725	12,555	411	9,407,520	22,889
新入学生学用品費	110	2,627,700	23,888	22	1,290,000	58,636
新入学準備金	75	4,054,500	54,060	137	8,220,000	60,000
移動教室費／修学旅行費	133	4,236,039	31,850	130	7,923,779	60,952
校外活動費	632	1,302,772	2,061	307	1,192,960	3,886
宿泊学習費	145	2,616,952	18,048	248	9,073,354	36,586
通学費	7	142,364	20,338	3	94,666	31,555
柔道着購入費				72	281,600	3,911
学校給食費	783	31,169,870	39,808	411	18,749,343	45,619
医療費	21	13,670	651	2	800	400
合計支出額		55,994,592			56,234,022	

就学援助制度について(トップページ > 子育て・教育 > 学校教育 > 就学支援 > 令和5年度就学援助制度のお知らせ)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s113/020/010/030/010/20170328103145.html>

▼就学奨励費支給状況【取組6 特別支援教育就学奨励の実施】

支給項目	小学校			中学校		
	支給児童数	支出額	1人平均額	支給生徒数	支出額	1人平均額
学用品費・通学用品費	48	321,000	6,688	24	290,920	12,122
新入学生学用品費	5	135,150	27,030	8	240,000	30,000
移動教室費／修学旅行費	9	148,891	16,543	6	180,959	30,160
校外活動費	39	30,621	785	21	24,918	1,187
宿泊学習費	24	130,899	5,454	21	119,730	5,701
通学費	14	224,922	16,066	10	430,326	43,033
学校給食費	48	1,003,670	20,910	24	515,854	21,494
合計支出額		1,995,153			1,802,707	

就学奨励費制度について(トップページ > 子育て・教育 > 学校教育 > 就学支援 > 就学奨励費制度)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s113/020/010/030/040/20170829170016.html>

基本施策1 確かな学力の定着

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁	
1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進		B	17	
2 理数教育の充実		B	18	
3 読書活動の推進と言語能力の育成		B	19,20	
4 個に応じた支援の充実		A	21,22	
政策指標				
授業に対して、すすんで取り組んでいると回答した児童・生徒の割合 (児童・生徒アンケート)		令和3年度	令和4年度	令和8年度 目標値
	小学校	90.0%	91.0%	92.0%
	中学校	89.0%	84.0%	90.0%

外部評価員による評価と意見		外部評価員	山田 茂利
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
<p>確かな学力の定着には、指導者に係る具体的な施策と児童生徒に係る具体的な施策という両面からの方策が必要です。</p> <p>このことについて、基本施策1-1「基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」では、「教職員の研修の充実」「土曜日・放課後補習の実施」と、これまで取り組んでこられた施策を改善し、充実を図られていることが評価できます。</p> <p>一方、課題としている『「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る指導方法の更なる工夫・改善』については、引き続き「大学との連携による授業改善の推進」において課題を明らかにしながら、成果については計画的に全校で共有することが求められます。</p> <p>基本施策1-2「理数教育の充実」について自己評価はBであるものの、課題とされているように、各学校における理科、算数・数学科の授業改善は一朝一夕に成し得るものではありません。理科教育推進担当教員や小学校教育研究会理科部の教員等の連携・協力を期待します。</p> <p>基本施策1-3「読書活動の推進と言語能力の育成」については、課題や今後の取組の方向性に示されているように、各学校における読書活動の推進は、市民図書館の利用や図書ボランティア等の支援が不可欠です。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、学校に配置されている図書館支援員や司書の先生方と、市民図書館との連携など計画的な取組を期待します。</p> <p>基本施策1-4「個に応じた支援の充実」については、特別支援教育に係る理解教育を進められていることが高く評価できます。なお、特別支援教室及び特別支援学級教員の更なる授業力向上については、これで十分ということはありませんので、中央教育審議会で示された「新たな教師の学びの姿」の実現を期待します。</p>			

基本施策2 豊かな心の醸成

基本施策2-1	担当課	指導課
人権教育の推進		

施策の方向性

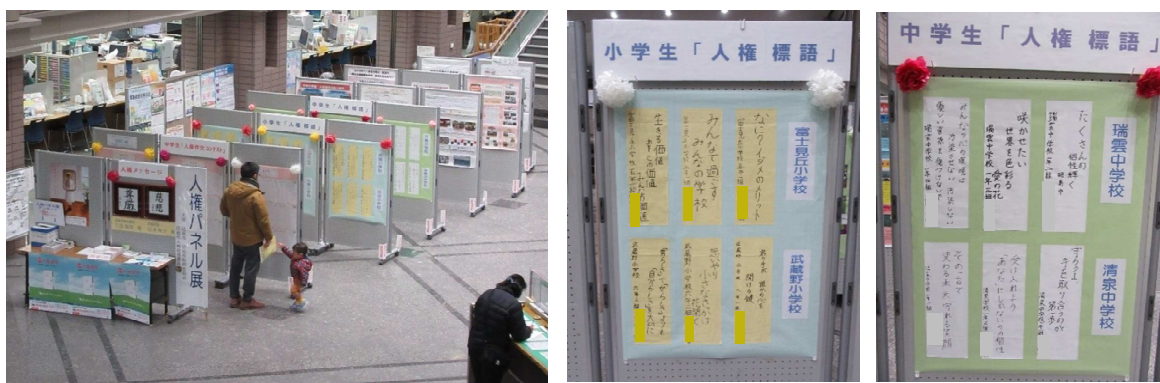
全ての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するためには、一人ひとりの子どもたちに人権尊重の精神を育むことが不可欠です。

各学校では、あらゆる偏見や差別をなくすために、「人権教育プログラム」の活用や、人権尊重教育推進校の研究成果等を基に、教育活動全体を通して子どもたちに人権尊重の精神の育成を図る人権教育を推進します。

主な取組【担当課】	取組実績
1 人権教育の推進【指導課】	9月に、市内全小・中学校の人権教育推進担当教諭、昭島市人権教育推進委員、中堅教諭等資質向上研修対象者を対象に、大学教授を講師とした人権教育研修を開催した。また、拝島第三小学校が令和3・4年度 東京都人権尊重教育推進校として人権教育に係る研究を推進し、2月の研究発表会において、研究成果の啓発を行った。
2 人権パネル展・人権標語の取組【指導課】	12月に、市役所1階ロビーにおいて、人権パネル及び人権標語の展示を行い、各小・中学校の人権教育に係る取組について紹介した。

自己評価	評価理由
B	人権課題は多種多様であり、常に知識の更新と人権感覚の向上を求められており、より一層、取組を向上させていく必要があるため。
A… 施策の方向性以上の成果がでている	
B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題	
従前より取り組んできた人権課題だけでなく、性的マイノリティ等の新たな人権課題についても解決に向けた知識の拡充や態度の育成を図り、人権感覚を常に向上させていく必要がある。	
今後の取組の方向性	
児童・生徒に適切な指導を行うために、更に研修内容の充実を図るとともに、好事例の共有等、市内小・中学校で連携した取組を行う。	

(参考資料)
▼ 人権パネル展の様子



基本施策2-2	担当課	指導課
道徳教育の充実		

<p>施策の方向性</p> <p>子どもたちが、自他の生命の尊重、規律ある生活等、将来、社会において生きていく上で求められる道徳的価値や人間としての生き方に関する意識を深めるために、「道徳授業地区公開講座」等を工夫しながら、学校・家庭・地域、関係機関との連携の下、道徳教育の充実、改善を図ります。</p> <p>「特別の教科 道徳」（以下「道徳科」という。）においては、発達段階に応じて、答えが一つではない道徳的な課題を、一人ひとりの子どもたちが自分自身の問題と捉え、向き合う「考え・議論する道徳」への転換を図ります。</p> <p>各学校における道徳科を道徳教育の要の時間と位置付け、道徳教育推進教師を中心に、各教科等における道徳教育との密接な関連を図りながら、計画的、発展的に道徳的価値や人間としての生き方について自覚を深めさせ、道徳性を高めます。</p>
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	道徳授業の充実【指導課】	各小・中学校において全教育活動の中で、道徳教育を推進するとともに、道徳科の授業を定められた時間数行うことで、道徳性を高める指導を行うことができた。
2	道徳授業地区公開講座の充実【指導課】	コロナ禍においても、道徳授業地区公開講座の実施形態を工夫しながら、学校の道徳教育に係る取組を発信することができた。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校で工夫を重ねながら、道徳教育の推進を図ることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
<p>主な課題</p> <p>コロナ禍において、以前まで行っていた形態での道徳授業地区公開講座の実施が困難であった状況があり、改めて内容の充実や効率化を図る必要がある。道徳教育において重点項目を設定し、道徳科の授業では、教科書等を用いて学習を進めているが、児童・生徒が、自分自身の問題と捉え、向き合う「考え・議論する道徳」への転換については、さらに工夫を重ねていく必要がある。</p>		
<p>今後の取組の方向性</p> <p>年間指導計画を活用した系統的な指導、教科等横断的な視点での授業改善、ICTの効果的な活用等により、道徳科の授業の質的向上を図る。</p>		

(参考資料)

▼道徳授業地区公開講座

東京都教育委員会と昭島市教育委員会が共催で、家庭、学校及び地域社会が連携して子どもたちの豊かな心を育むとともに、小・中学校等における道徳教育の充実のために、道徳の授業を公開している。その趣旨は、道徳の授業の質を高め、道徳の時間の活性化を図ること、意見交換を通して、家庭・学校・地域社会が一体となった道徳教育を推進すること、道徳の授業を公開することにより、開かれた学校教育を推進することである。

(参考) 文部科学省ホームページ トップ > 教育 > 小学校、中学校、高等学校 > 道徳教育

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/

基本施策2-3	担当課	指導課
体験活動の充実		

<p>施策の方向性</p> <p>子どもたちを地域の自然や歴史、文化等に直接触れる郷土学習や、福祉の心を育てるボランティア活動等に参加させるとともに、小学校での移動教室、中学校での職場体験や修学旅行などを通し、子どもたちの発達段階に応じた体験活動の充実を図ります。</p>
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	小学校における移動教室の実施【指導課】	市内全小学校が、第5学年においては、1泊2日のハヶ岳移動教室、第6学年においては、2泊3日の日光移動教室を実施した。
2	中学校移動教室・修学旅行の実施【指導課】	第3学年については全6校が、京都・奈良方面に2泊3日の修学旅行を実施した。また、第2学年の移動教室は、5校がスキー教室を実施した（1校については、昨年度実施済）。第1学年の移動教室は、全6校がスキー教室を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	コロナ禍においても感染症防止対策を行いながら、移動教室や修学旅行を実施することができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	

<p>主な課題</p> <p>新型コロナウイルスをはじめとした感染防止対策に努めながら、安全・安心な体験活動の充実を図り、よりよい人間関係を築く体験を積み重ねることが必要である。</p>
<p>今後の取組の方向性</p> <p>基本的な感染防止対策を継続しながら、全小・中学校において実施していく。また、実地踏査において十分な情報収集を行い、安全かつ充実した活動ができるよう、各小・中学校が実施計画を立てる。</p>

(参考資料)

▼移動教室実施日

第5学年(清里方面)

東小学校	6月9日～6月10日
共成小学校	6月3日～6月4日
富士見丘小学校	6月10日～6月11日
武蔵野小学校	6月3日～6月4日
玉川小学校	6月16日～6月17日
中神小学校	5月27日～5月28日
つつじが丘小学校	6月9日～6月10日
光華小学校	6月23日～6月24日
成隣小学校	6月30日～7月1日
田中小学校	6月23日～6月24日
拝島第一小学校	6月22日～6月23日
拝島第二小学校	6月8日～6月9日
拝島第三小学校	6月20日～6月21日



▲自然体験の様子(富士見丘小)



「清泉寮自然学校」でのキャンプファイヤー(富士見丘小)▲



▲戦場ヶ原ハイキング(玉川小)



▲日光東照宮見学(玉川小)



▲▶スキー教室の様子(清泉中学校)



第6学年(日光方面)

東小学校	5月22日~5月24日
共成小学校	6月16日~6月18日
富士見丘小学校	5月22日~5月24日
武蔵野小学校	5月22日~5月24日
玉川小学校	5月29日~5月31日
中神小学校	6月5日~6月7日
つつじが丘小学校	6月28日~6月30日
光華小学校	5月19日~5月21日
成隣小学校	5月26日~5月28日
田中小学校	5月19日~5月21日
拝島第一小学校	6月12日~6月14日
拝島第二小学校	5月24日~5月26日
拝島第三小学校	5月29日~5月31日

中学校スキー教室

	第1学年	第2学年
昭和中学校	1月26日~1月28日	1月29日~1月31日
福島中学校	1月26日~1月28日	1月15日~1月17日
瑞雲中学校	1月26日~1月28日	1月15日~1月17日
清泉中学校	1月26日~1月28日	1月15日~1月17日
拝島中学校	1月26日~1月28日	2月5日~2月7日
多摩辺中学校	1月26日~1月28日	令和3年度実施済

中学校 第3学年 修学旅行

昭和中学校	9月3日~9月5日
福島中学校	9月22日~9月24日
瑞雲中学校	9月14日~9月16日
清泉中学校	9月22日~9月24日
拝島中学校	10月11日~10月13日
多摩辺中学校	9月7日~9月9日



▲おばんざいスタイルのタご飯(福島中)



▲東大寺大仏殿見学(福島中)



▲青蓮院門跡にて、お抹茶をいただく生徒たち(福島中)

基本施策2-4	担当課	指導課
健全育成の推進		

<p>学校の方向性</p> <p>学校は、全ての子どもたちが安心して学び、楽しく学校生活を送ることができる場であることが最も大切です。そのため、教育活動全体を通して、いじめは絶対に許されない行為であることを、子どもたち一人ひとりに徹底して指導し、いじめを生まない、許さない学校・学級づくりを推進するために、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等の対策を強化します。また、いじめ問題対策委員会、いじめ問題防止会議において、いじめ問題について協議し、いじめ対策に生かしていきます。</p> <p>不登校及び不登校傾向にある子どもたちに対し、教育支援室（たまがわ教室、もくせい教室）において、社会的自立に向けた支援を行います。また、不登校等の悩みを抱える子どもたちと保護者への支援に向けて、心理士やスクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）の連携を強化し、教育相談体制の充実を図ります。</p>

主な取組【担当課】		取組実績
1	いじめ問題対策委員会の開催【指導課】	昭島市いじめ防止対策推進基本方針に基づき7月と12月に開催し、昭島市の基本的ないじめ防止等のための調査や研究、効果のある対策を検討するために専門的な立場から議論を行った。学校いじめ対策委員会の取組や、校内で発生したSNSトラブルに関して、学校が行う対策の具体例を踏まえた指導・助言を専門家よりいただき、学校への対応に生かすことができた。
2	いじめ問題防止会議の開催【指導課】	昭島市いじめ防止対策推進基本方針に基づき5月、12月、3月に開催し、いじめ防止に係る協議を行った。小・中校長会長や人権擁護委員、PTA関係者や民生児童員に参加を依頼し、各担当からの視点で意見をいただき、啓発資料の検討及び作成を行った。また、啓発資料を学校、地域、保護者に周知し、いじめ防止に関する取組の推進を図ることができた。
3	いじめに関する学校における取組の実施【指導課】	各学校において、「学校いじめ対策委員会」を定期的に開催するとともに、必要に応じて臨時開催することで、いじめの早期発見や早期対応に努めた。また、年3回以上の「いじめに関する研修」「いじめに関する授業」や「いじめ防止アンケート」を実施し、中学校生徒による「いじめ防止ポスター」の作成や配布などの取組を行った。
4	教育支援室の指導体制と指導内容の充実【指導課】	教育支援室に小学生17名、中学生15名が通室した。通室児童・生徒に対して、個別指導や小集団指導を継続的に行い、学校復帰及び上級学校への進学、社会的自立を目指した。
5	スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）の派遣【指導課】	スクールソーシャルワーカー3名を教育福祉総合センターに配置し、子どもや保護者など家庭にかかわるトラブルに、円滑に対応できる体制をとった。関係機関とのケース会議に延べ29回出席して、支援を行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	いじめに関する委員会では、専門家からの意見や助言を得ながら解決に導くことができた。また、いじめ問題防止会議において委員から意見や助言をいただき、地域向けリーフレットを完成することができたが、更に、取組を充実させ、いじめの根絶に向けて取り組んでいく必要があるため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
<p>主な課題</p> <p>いじめの未然防止に努め、早期発見、早期対応、継続した見守りを徹底する必要がある。児童・生徒が教育支援室を体験するが、継続して通室につながらないことがある。より多くの児童・生徒にとっての居場所となることが課題である。</p>		

今後の取組の方向性

家庭を含む関係機関と、より一層の連携を図り、取組を推進していく。教育支援室がより多くの不登校児童・生徒にとって安心できる居場所となり、学校復帰や自立のきっかけとなるよう随時環境や指導内容を見直していく。

(参考資料)

▼教育支援室児童・生徒在籍状況

区分	小学校	中学校	合計
人数	17	15	32

【昭島市いじめ防止対策推進基本方針】(一部抜粋)

<基本的な考え方>

- ・ 昭島市立学校の全ての児童・生徒が安心して登校し、学校生活を送ることができるよう、学校の内外を問わず、いじめの未然防止、早期解消を目的とする。
- ・ いじめは絶対に許されない行為であり、どの子供にも、どの学校でも起こる可能性があるとの共通認識のもと、学校、家庭、地域、教育委員会、関係機関等が互いに連携し、組織的かつ継続的な取組を行う。
- ・ 学校においても教育活動全体を通じ、全ての児童・生徒に「いじめは決して許されない」ことの理解を促し、児童・生徒の豊かな情操や道徳心、自他の存在を尊重し合える態度、自己肯定感等、心の通う人間関係を構築する能力の素地を養う。

<教育委員会の施策>

- 1 昭島市いじめ問題防止会議の設置
- 2 昭島市いじめ問題対策委員会の設置
- 3 昭島市いじめ問題第三者調査委員会の設置
- 4 教育委員会におけるいじめ防止等に関する具体的な取組
 - (1) いじめ問題の状況に関する調査の実施
 - (2) いじめ相談体制の確立
 - (3) 学校サポートチームの活用及び関係諸機関との連携強化
 - (4) いじめ防止のための教職員の資質・能力の向上と調査研究の実施
 - (5) インターネット等によるいじめ問題対策の推進
 - (6) いじめ防止に向けた啓発活動の推進
 - (7) 各校が行ういじめ防止等への取組に対する支援

【いじめ防止ポスター】

▶ 市内中学生の作品



基本施策2 豊かな心の醸成

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 人権教育の推進		B	24
2 道徳教育の充実		B	25
3 体験活動の充実		B	26,27
4 健全育成の推進		B	28,29
政策指標			
困ったことがあったら、相談してみようと思う大人がいる と回答した児童・生徒の割合 (昭島市立学校の児童・生徒アンケート)		令和3年度	令和4年度
	小学校	86.0%	90.0%
	中学校	79.0%	83.0%
		令和8年度 目標値	90.0%
			85.0%

外部評価員による評価と意見		外部評価員	山田 茂利
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
<p>豊かな心の醸成の4つの施策とともに、計画的・継続的に、課題を明らかにしながら取組まれていることが評価できます。</p> <p>基本施策2-1「人権教育の推進」における性的マイノリティ等の新たな人権課題を視野に入れられていることは、今後の取組に加えていただくことをお願いします。</p> <p>基本施策2-2「道徳教育の充実」は「豊かな心の醸成」の要となることです。コロナ禍においても工夫され実施した道徳授業地区公開講座などをさらに改善・充実させ、家庭、学校及び地域社会が連携して子どもたちの豊かな心を育むことができることを期待します。</p> <p>基本施策2-3「体験活動の充実」については、これまで新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、教育委員会及び学校の努力で実施いただいたことは敬意を表するところです。今後、安全かつ充実した活動ができるよう、引き続き各小・中学校が計画的に実施することと、そのための教育委員会の支援をお願いします。また、福祉の心を育てるボランティア活動等については、特別活動のキャリア教育に位置づけ、児童生徒の発達段階に合わせた指導を行っていただくことを期待します。</p> <p>基本施策2-4「健全育成の推進」におけるいじめ問題への対応については、これまで教育行政、学校、家庭、地域社会が連携・協力して進めてこられた施策等の継続と充実を望みます。</p>			

基本施策3 健やかな体の育成

基本施策3-1	担当課	指導課、教育総務課
体力向上の推進		

<p>施策の方向性</p> <p>子どもたち一人ひとりが健やかな体をつくり、健康で安全な生活を送ることができるよう、学校・家庭・地域が連携した体力向上策を推進します。</p> <p>各学校では、東京都の「アクティブプランto2020（総合的な子どもの基礎体力向上方策（第3次推進計画）」）に基づき、体力向上に関わる目標や、具体的な取組内容を定めた体育・健康に関する全体計画を策定し、計画的に体力の向上を図ります。</p> <p>また、体育・健康に関する指導を、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めます。</p>
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	体育・保健体育の授業の充実 【指導課】	「令和3年度 東京都教育委員会国際的なスポーツ大会を契機とした体力向上事業」指定地区の成果と課題を活かして、各学校が生活習慣と運動習慣の改善を通じて、体力向上に取り組んだ。
2	東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の実施・活用 【指導課】	調査結果から、「反復横跳び」、「立ち幅跳び」など、課題が見られた種目を中心に、「元気アップガイドブック」を活用した授業改善や、日常的な体力向上に取り組んだ。また、長座体前屈は小学校の全学年で、50m走及びボール投げは中学校の全学年で東京都の数値を上回った。
3	校庭芝生化運動場の維持 【教育総務課】	小学校13校及び中学校4校の芝生運動場について、芝生の健全な生育を図るため、計画的に播種や目土等の更新作業を実施した。
4	中学校における運動系部活動参加の推進 【指導課】	各中学校において、生徒一人一人の特性を生かして部活動に加入できるよう、校内体制を整えた。また、それぞれの運動部活動の特性を生かして、生徒一人一人の心身の成長を目指して活動を行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校の体力向上の取組や、中学校部活動の取組により、児童・生徒の体力向上に対する意識を高めることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
<p>主な課題</p> <p>東京都の平均点より低く、課題のある種目については、「元気アップガイドブック」を活用した授業の実施や、コーディネーショントレーニングを取り入れるなどの工夫により改善を図る必要がある。</p>		
<p>今後の取組の方向性</p> <p>生活習慣と運動習慣の両面から、体力向上の取組を実施する。中学校部活動については、「昭島市立中学校に係る運動部活動の方針」に基づき、適切に運営していく。また、中学校部活動の地域連携・地域移行を踏まえ、部活動指導員を活用し、運動部活動の指導の充実に努めるとともに、教員の長時間勤務の解消に努めていく。</p>		

(参考資料)

▼東京都児童・生徒体力運動能力、生活・運動習慣等調査結果

調査対象：小学校全学年及び中学校全学年

実施日：令和4年5月

	性別	学年	人数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 とび (回)	持久走 (秒)	シャトル ラン (回)	50M 走 (秒)	立ち幅 とび (cm)	ボール 投げ(m)	体力合計点	
															昭島市	東京都
小学校	男子	1	466	116.6	21.1	8.8	10.1	27.0	25.3	-	16.7	11.6	109.6	7.3	28.6	29.4
		2	455	122.5	24.0	10.4	13.5	28.4	28.0	-	25.7	10.6	121.3	9.7	35.7	36.4
		3	491	128.1	26.8	12.4	15.1	30.9	31.6	-	32.0	10.1	132.5	13.8	41.6	42.2
		4	473	133.8	30.6	14.2	17.6	32.3	36.1	-	39.9	9.6	140.4	16.4	47.4	47.7
		5	436	139.6	33.6	16.5	19.4	35.8	39.9	-	45.2	9.3	149.9	19.1	53.6	53.1
		6	466	145.7	38.5	19.2	20.5	37.3	42.1	-	51.3	8.8	163.8	22.7	58.3	58.9
	女子	1	466	116.0	20.9	8.4	9.9	29.6	24.3	-	13.2	11.9	102.8	4.7	28.3	29.2
		2	483	121.8	23.4	9.9	13.0	32.2	26.8	-	19.1	10.9	115.1	6.5	36.3	36.6
		3	436	127.8	26.2	11.4	15.2	34.1	30.4	-	24.3	10.4	125.4	8.6	42.7	42.7
		4	485	134.2	29.9	13.7	17.8	37.4	34.7	-	30.4	9.9	135.0	10.7	49.6	48.7
		5	461	141.5	35.1	16.8	19.2	40.8	38.0	-	36.6	9.5	144.1	12.4	55.4	54.8
		6	443	147.9	39.5	19.3	19.4	41.6	40.1	-	38.7	9.1	152.9	14.4	59.8	59.6
中学校	男子	1	438	154.0	44.0	23.8	23.3	41.6	48.6	443.6	64.3	8.5	181.4	17.5	33.1	32.7
		2	397	161.4	49.3	29.2	25.2	44.3	51.4	392.8	74.5	7.8	194.1	20.6	41.0	40.5
		3	365	166.8	54.2	33.9	27.9	48.8	53.9	378.7	85.2	7.3	210.1	23.0	48.5	47.2
	女子	1	420	152.5	44.0	21.1	20.0	44.5	44.1	323.2	41.2	9.0	160.7	10.8	41.7	42.3
		2	390	155.0	46.3	22.3	21.3	47.7	44.8	298.7	49.4	8.8	163.9	13.1	46.5	46.9
		3	368	156.7	48.7	23.8	22.8	46.6	46.3	303.5	56.5	8.6	167.4	14.7	49.6	49.8

※網掛けは、都の平均を越えている種目等



◀ 元気アップガイドブック

運動に親しみ、自らの力で健康的な生活を営む児童・生徒を育成するために、平成29(2017)年に昭島市教育委員会が作成した冊子。東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果を記録し、目標や振り返りを記入し、学校と家族で共有することができる。また、家族や友達とできる簡単な運動や「グッドモーニング60分」の取組も紹介している。

【校庭芝生化運動場の維持】



▲エアレーション作業



▲播種作業

基本施策3-2	担当課	学校給食課、指導課
学校給食・食育の充実		

<p>施策の方向性</p> <p>子どもの健全な発育のため、地元農家の協力を得て、地場野菜を積極的に活用し、安全・安心な学校給食の提供を行います。</p> <p>また、学校、家庭及び地域等と連携し、食育を推進します。そして、各学校では、「食に関する全体計画」に基づき、食育リーダーを中心とした指導体制を一層充実するとともに、望ましい食習慣など健康的な生活習慣の形成を促進します。</p>

主な取組【担当課】		取組実績
1	学校給食運営基本計画に基づく学校給食の実施【学校給食課】	新たな調理場の整備について、第二調理室の解体工事が完了し、新築工事に着手した。 また、中学校給食の親子調理方式による提供を開始した。
2	学校給食を通じた食育の推進【学校給食課、指導課】	献立表や給食だよりを通じて、旬の野菜や野菜摂取の重要性を伝えるとともに伝統的な食文化の継承の為、郷土料理や和食を積極的に取り入れた。地場産食材を給食で活用し、農家と連携した食に関する指導を実施した。 食育リーダー会議の年2回の開催や教員との情報交換、学校との連携を図るため、センター校、親子調理方式の学校については、月に1回、食育推進会議（給食主任会）を開催した。 また、食育シンポジウムの開催や子ども向けレシピ動画や給食調理の様子を紹介する動画を作成するなど、昭島市公式YouTubeやInstagramを通じた情報発信により、食育の見える化を図った。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	SNSを利用した情報発信及び学校との連携を図り食育シンポジウムを開催するなど、食育の見える化を推進することができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
<p>(ア) 衛生管理の徹底について 安全・安心な学校給食の提供を行うため、業者、職員等と連携し引き続き、衛生管理体制の充実に努める。</p> <p>(イ) 食育推進のための連携について 学校給食を通じた食育を推進していく中で、家庭や地域と連携した取組みについて、更に検討を進める必要がある。また、食育については、家庭における関わりが重要であり、保護者や児童・生徒が食育を身近にとらえる機会や情報提供について更なる取組の充実が必要である。</p>		

今後の取組の方向性

(ア) 衛生管理の徹底について

職場環境の整備や職員の衛生管理に対する意識向上を図り、異物混入や食中毒を防いでいく。また、異物混入時の連絡体制などの徹底を図るとともに、食品の選定、納品に係る検収は、より細かく確認することにより、食中毒の防止や安全な食材の調達に努める。

(イ) 食育推進のための連携について

学校給食を通じた食育を推進するため、家庭・学校・地域が一体となって取り組める体制を整える。また、家庭での食育を推進するため、Let's食育クッキング教室の開催や弁当の日の取組を家庭に周知し、理解を深めていくとともに、児童・生徒がお弁当づくりを通じて、食への関心や食事の大切さなどについて、家庭で考えるきっかけづくりとなるようにする。また、情報発信の効果的な手法について検討していく。

(参考資料)



▲食育シンポジウム



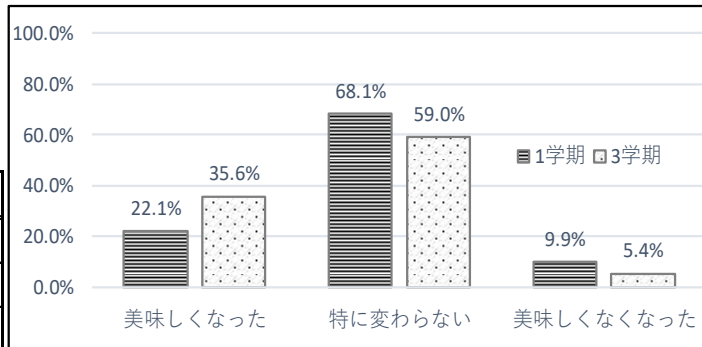
▲Let's食育クッキング

〈親子調理方式移行に伴う給食に関するアンケート結果について〉

質問1 味はいかがでしたか

6校合計	1学期	3学期
美味くなった	22.1%	35.6%
特に変わらない	68.1%	59.0%
美味しくなくなった	9.9%	5.4%

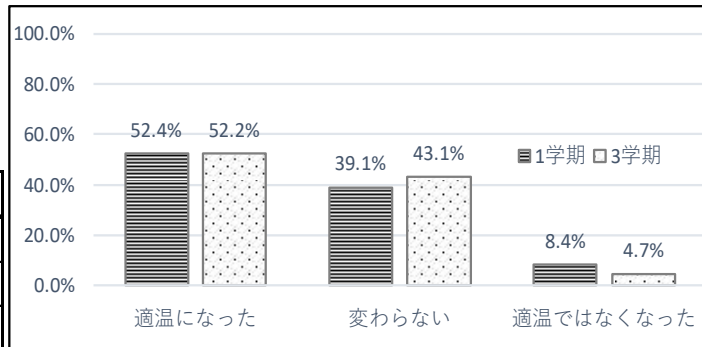
回答数 (名) 761 回答数 (名) 725



質問2 適温で食べられるようになりましたか

6校合計	1学期	3学期
適温になった	52.4%	52.2%
変わらない	39.1%	43.1%
適温ではなくなった	8.4%	4.7%

回答数 (名) 759 回答数 (名) 724



基本施策3-3	担当課	指導課、学務担当
学校保健安全の推進		

施策の方向性
<p>子どもたちの安全・安心の確保や心と身体の健康管理のため、アレルギー疾患対応マニュアルに基づいた対応や、各種健康診断を実施します。</p> <p>また、子どもたちが自分で自分の身を守れるようにするため、各学校の安全教育全体計画に基づき、家庭や地域と連携して、生活安全、災害安全及び交通安全の3領域について計画的な指導を行います。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症への対応を教訓として、感染症に対する正しい理解と予防対策を身に付け、感染症のまん延防止に努めます。</p>

主な取組【担当課】		取組実績
1	薬物乱用防止教室の実施【指導課】	各小・中学校で適切な学年を選び、関係機関と連携を図るなどの工夫を行いながら実施した。
2	がん教育の取組の推進【指導課】	中学校全6校で、外部講師を活用したがん教育を実施した。瑞雲中学校と清泉中学校では、外部講師を招聘して実施し、残りの4校については、外部講師の講義ビデオを活用して実施した。
3	セーフティ教室の実施【指導課】	各小・中学校で、関係機関と連携し、発達段階に合わせた内容を検討し、交通安全教室や不審者対応、万引きの防止やSNSの安全な使い方などについて実施した。
4	感染症対策の推進【学務担当、指導課】	各小・中学校における感染防止対策用の手指消毒液や手洗い石鹸の整備を行った。また、学校が、3密を避けて教育活動を行うための教材備品の購入や、校外活動等におけるバス台数を増加する費用の補助を行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	コロナ禍においても、各学校が内容や実施形態を工夫しながら取り組むことができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
外部講師を招いて活動を行うなどの工夫が図られているが、児童・生徒が課題解決のために主体的に考えたり話し合ったりする時間の設定について、更に工夫していく必要がある。		
今後の取組の方向性		
外部講師を招いて指導する場合には、打ち合わせ等を緊密に行い、更なる学習活動の充実を図る。学習内容について適切な知識を身に付けさせるとともに、感染症対策については、引き続き拡大防止と感染症に対する偏見や差別を生まない指導に努める。		

(参考資料)

【薬物乱用防止ポスター】



◀清泉中2年 町田 莉渚 さんの作品

左記の作品は、令和4年度 薬物乱用防止ポスター 東京都の選考にて、最優秀賞(ポスター部門)を受賞しました。

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kenkou/kenkou_zenen/stop/poster.html

【インターネットトラブル防止啓発資料】

保護者・関係者の皆様

我が子を守る

思いがけないインターネットトラブルから

お子様との話題にしてみませんか？

子どもたちのインターネット利用は、多様化・低年齢化が見られ、インターネット利用時のトラブルも増加傾向にあります。このようなトラブルは、いつでも誰にでも起こり得るものです。

子どもにスマートフォンや携帯電話を持たせるとき、一番の責任は保護者にあります。また、子どもの成長に伴い、保護者が負わねばならない責任も大きくなっていきます。

思いがけないトラブルから子どもを守り、インターネットと賢く付き合っていくためには、ご家庭において適切なルールづくりをしていく必要があります。利用の実態や発達段階に合わせて、ルールについて話し合ったり見直ししたりしていただきますよう、お願いします。

令和3年4月
昭島市教育委員会

☆保護者の方と一緒に、インターネットの賢い利用方法について考え、話題としてみてください。

☆社会で許されないことは、インターネット上でも許されないことを教えてください。

☆子どもが困ったときには、落ち着いて事情を聞き、親身に相談のってください。

☆困ったときに相談できる窓口があることを、子どもに教えてください。(保護者の方からの相談も可能です。)

【昭島市いじめ相談ホットライン(いじめ専門電話相談)】 042-5433-7633
※平日 9時~17時(土日祝日、年末年始を除く)

【24時間子供SOSダイヤル(文部科学省)】 0120-0-78310

家庭のルールを相談して決めましょう！

インターネット上のトラブルを未然防止していくために、利用段階に応じた保護者の手助けをお願いします。保護者が押し付けるのではなく、一緒に考え、守れるようにしてください。

※SNSや動画サイトには、利用に関わる年齢制限があります。(多くは13歳以上となっています。)

許可すること(例)	保護者の関わり(例)	ルールづくり(例)
★レベル1★【インターネット利用 デビュー】 ○インターネットサイトや動画の閲覧を許可！ OSNSは、禁止！	利用時間の決定 ○生活習慣を守ることを前提に利用時間を決める。 ○レベルアップの見直しをもたせる。	○インターネットは1日、____分まで。 ○食事中や移動中は使わない。 ○パスワードは、保護者に教える。 ○夜、____時に保護者に返す。 (保護者のものであることの認識。)
★レベル2★【インターネット利用 レベルアップ】 ○家族限定で、メールの利用を許可！ OSNSは、禁止！	コミュニケーションの練習 ○家族とメール交換する。 ○言葉の選び方や絵文字の活用など、伝え方を練習させる。	○メール交換は、家族とだけ。 ○自分が送られて嫌なことは送らない。 ○相手があや、侮蔑しているか考えさせる。 ○「やばい」など本来の意味以外に使われる言葉や、流行り言葉を多用しない。
★レベル3★【SNS等の利用 デビュー】 ○家族や親戚、知人や友達に限定してメールやSNSの利用を許可！ ○知らない人とのコミュニケーションは禁止！	コミュニケーションの練習 ○相手を限定してSNSの利用を許可する。 ○送迎の会話を大切にし、送迎の内容を確認する。	○友達との送受は、____時まで。 ○大音量に当たったり音量を強押ししたりしない。 ○意味が伝わらな、相手が嫌な気持ちにならないか、送る前にもう一度確認する。 ○友達の間接は手加工や送迎をしない。
★レベル4★【SNS等の利用 レベルアップ】 ○インターネット上で知り合う人とのコミュニケーションを許可！	利用範囲を広げ、見守る ○社会機能が理解できたら、利用範囲を広げる。 ○いじめや犯罪等に巻き込まれないために見守る。	○金銭が伴うようなやり取りはしない。 ○公開してよい情報か、他人に迷惑が掛からない内容か確認する。 ○みんなが笑顔になる利用を心掛ける。 ○困ったときはすぐに相談する。
★レベル5★【SNS等の利用 充実】 ○インターネットを利用してできることを有効に活用させ、生活をよりよいものに！	自由に利用させ、見守る ○自己判断して行動する場面を増やし、成長を見守る。 ○無自覚のうちに加害者にならないよう意識させる。	○事実を確認せずに、不確かな情報を信じたり拡散したりしない。 ○誹りや悪意の誹りを行うときには、自分の利用できる範囲をよく考えて行う。 ○身近な人との直接的なコミュニケーションも大切にする。

基本施策3 健やかな体の育成

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 体力向上の推進		B	31,32
2 学校給食・食育の充実		A	33,34
3 学校保健安全の推進		B	35,36
政策指標			
運動やスポーツをすることが好きであると回答した児童・生徒の割合 (東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣調査)		令和3年度	令和4年度
	小学校	90.5%	91.0%
	中学校	81.8%	83.0%
			令和8年度 目標値
			92.0%
			83.0%

外部評価員による評価と意見		外部評価員
		山田 茂利
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。	
	4 … 施策は順調に推進されている。	
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。	
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。	
	1 … 施策の推進に全く至っていない。	
外部評価員の意見		
<p>基本施策3-1「体力向上の推進」については、政策指標である「運動やスポーツをすることが好きであると回答した」児童生徒の割合が高まっていることは成果として受け止めて良いと考えます。しかしながら、体育科の授業だけで体力は向上しないことは論をまたないところです。したがって、児童生徒が運動やスポーツが好きと言う理由を明らかにして、その意識を高め、運動やスポーツがいつでもできる環境(中学校の部活動を含む)を整えていくことを期待します。</p> <p>基本施策3-2「学校給食・食育の充実」については、学校給食に係る教育行政、学校がその役割を果たしていることが伺えます。一方、食育については、課題として明らかにされているように、家庭や地域と連携した取り組みなくしては、望ましい食習慣など健康的な生活習慣の形成を図ることは困難です。特に保護者へは、引き続き食育を身近にとらえる機会や情報提供をお願いします。</p> <p>基本施策3-3「学校保健安全の推進」は、教育の基盤です。引き続き計画的・継続的な施策の展開及び指導の充実をお願いします。</p>		

基本施策4 輝く未来に向かって

基本施策4-1	担当課	指導課
幼・保・小・中が連携した教育の充実		

<p>施策の方向性</p> <p>幼児教育と小学校教育との円滑な接続を行うために、各学校では「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」に基づく取組を実施します。幼保小連携推進協議会では、幼稚園、保育所等や小学校の教職員が集まり、相互に連携し、子どもたちが円滑な小学校生活をスタートできるよう情報共有を行います。</p> <p>また、義務教育9年間を通して、子どもたちに系統的、継続的な指導を行うため、中学校の学区ごとに小中連携教育を推進します。各中学校区では、年3回小・中連携の日を設定し、生活指導の各学校の状況について情報共有を行ったり、児童会と生徒会が交流を行ったりすることで、取組内容の統一化を図っていきます。</p>
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」に基づく取組の実施【指導課】	各小学校でスタートカリキュラムを作成することで、第1学年の入学当初に児童が円滑にスタートできる学習を計画的に実施することができた。
2	幼保小連携推進協議会の開催【指導課】	年3回の幼保小連携推進協議会において、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校で情報共有する「情報交換会」を、教育委員会と子ども子育て支援課で連携して令和5年1月にオンラインで実施した。
3	小中連携教育の推進【指導課】	6つの中学校区に分かれて、年3回以上小中連携日を設定し、教員同士や児童・生徒同士の交流を行い、小学校と中学校の連携を推進した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校でスタートカリキュラムによる計画的な指導が実施できた。また、オンラインを活用した幼保小の連携も進んだため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	

<p>主な課題</p> <p>令和2年度から令和4年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼稚園・保育所等の見学が実施できていない。今後の状況も踏まえながら、幼稚園・保育所等の見学や幼児の様子について知る機会を設けることが課題である。</p>
--

<p>今後の取組の方向性</p> <p>小学校では、引き続きスタートカリキュラムを基にした計画的な指導を行う。また、状況を踏まえながら幼稚園・保育所等の幼児と、小学校の児童で交流できる機会を設ける。小中連携教育の推進では、部活動体験など、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施できていなかった取組を、状況を踏まえながら実施し、小学校と中学校の連携を更に推進していく。</p>
--

(参考資料)

▼昭島市スタートカリキュラムスタートブック
スタートカリキュラム

小学校へ入学した子どもが、幼稚園や保育園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を作り出していくための教育課程。



昭島市スタートカリキュラム スタートブック

～昭島っ子の「学びの芽生え」から「自覚的な学び」をつなぐ～

昭島市教育委員会では、「第2次昭島市教育振興基本計画」に基づき、一人一人の発達や学びを切れ目のないようにつなげ、学びの成果を受け止め、次の段階で一層発展できるように、「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」を発行し、小学校段階において円滑にスタートできることを目指した教育を進めています。

1 スタートカリキュラムとは

「スタートカリキュラム」とは？
小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していけるように編成した第1学年入学当初のカリキュラムのことです。
入学したばかりの児童に「明日も学校に来たい。」という学校生活に対する意欲と安心感をもたせ、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続をもたらすように、スタートカリキュラムを工夫することが大切です。
入学当初は、「学びの芽生え」から「自覚的な学び」へと連続させることが重要となります。生活科を核として楽しいことや好きなことに没頭する中で生じた驚きや発見を大切に、学ぶ意欲が高まるように活動を構成することが有効です。

幼児期	学びの芽生え	児童期	自覚的な学び
<ul style="list-style-type: none"> ●楽しいことや好きなことに集中することを通して、様々なことを学んでいく。 ●遊びを中心として、頭も心も体も動かして様々な対象と直接関わりながら、総合的に学んでいく。 ●日常生活の中で、様々な言葉や音言語によるコミュニケーションによって他者と関わり合う。 	<p>安心 成長 自立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学ぶことについての意識があり、集中する時間とそうでない時間(休憩時間等)の区別が付き、自分の課題の解決に向けて、計画的に学んでいく。 ●各教科等の学習内容について授業を通して学んでいく。 ●主に授業の中で、話したり聞いたり、読んだり書いたり、一緒に活動したりすることで他者と関わり合う。 	
<p>【幼児教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)を総合的に学んでいく教育課程 ●子どもの生活リズムに合わせた1日の流れ ●身の回りの「人・もの・こと」が教材 ●総合的に学んでいくために工夫された環境の構成 など 	<p>生活の段差 学びの段差 指導の段差</p>	<p>【小学校教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各教科等の学習内容を系統的に学ぶ教育課程 ●時間割に沿った1日の流れ ●教科書等の主たる教材 ●系統的に学ぶために工夫された学習環境 など 	

子ども達を取り巻く問題の低年齢化・多様化 → 小1プロブレム等の発生 → 連携と接続の工夫が必要

スタートカリキュラム

【幼保小連携推進協議会について】

○参加者		
担当幼稚園長	昭島台幼稚園 理事長	常木 浩史
担当保育園長	昭和保育園 園長	松野 紀代美
担当校長	東小学校長	鈴木 正樹
(事務局)		
子ども子育て支援課長、子ども子育て支援係長 統括指導主事、指導主事		
○議題		
第1回 幼保小の見学について		
第2回 幼保小情報交換会の開催について		
第3回 今年度のまとめ及び次年度の取組について		

基本施策4-2	担当課	指導課
日本の伝統・文化に関する教育の充実		

<p>施策の方向性</p> <p>国際社会で活躍する日本人の育成を図るため、子どもたちの発達段階を踏まえ、各教科等を通じて、日本の伝統・文化、東京都や昭島市の歴史と風土について学ぶ機会の充実を図り、我が国や郷土を愛し、伝統や文化を継承、発展させようとするとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育む教育を推進します。</p> <p>小学校においては、連合音楽会や連合展覧会を開催し、中学校においては、合唱コンクールを開催し、子どもの豊かな情操を育成します。</p>
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	体験活動を通じた伝統・文化に関する教育の推進【指導課】	各教科等で日本の伝統・文化、東京都や昭島市の歴史と風土について取り上げた。また、オリパラレガシーとして国際感覚の育成に向けて、伝統・文化教育を全校で実施した。
2	小学校連合音楽会の開催【指導課】	新型コロナウイルス感染症対策として、舞台を拡張して使用したり、客席には1席空けて座るなどの工夫をしながら、小学校第6学年を対象にKOTORIホールで開催した。
2	小学校展覧会の開催【指導課】	令和4年度は、公民館の改修時期との重なりから、アキシマエンス校舎棟2階・3階を会場として実施した。作品展示数や展示スペースの工夫を行い、感染症対策に留意しながら実施した。
2	中学校合唱コンクールの実施【指導課】	新型コロナウイルス感染症対策として、学年別に実施するなどの工夫をしながら、全中学校がKOTORIホールで実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	伝統・文化に関する教育や、市主催の各種行事により、児童・生徒の豊かな情操を育むことができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
日本の伝統・文化を大切にしていこうとする態度を育むために、体験活動の機会を増やし、継続して実施していく必要がある。		
今後の取組の方向性		
日本の伝統・文化に関わる体験活動を増やし、東京都や昭島市などの地域の歴史と文化について学ぶ機会を確保できるよう、各学校が小学校6年間、または中学校3年間を見通して、系統的な指導計画を作成するよう指導・助言する。また、地域と連携した取組を継続して実施する。		

(参考資料)



▲小学校連合音楽会の様子(中神小)

基本施策4-3	担当課	指導課
学校、家庭、地域・社会との連携・協働		

施策の方向性
<p>社会がますます複雑化、多様化し、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化する中、これからの教育は、これまで以上に家庭、地域・社会と学校との連携・協力の下で進めていくことが不可欠です。</p> <p>学力の向上には、学校での学習指導とともに、家庭においても基本的な学習習慣、生活習慣を身に付けさせることが重要です。</p> <p>そのために、学習ドリルや家庭学習のしおりを活用して、家庭での学習習慣の定着を図るとともに、起床から登校までの時間を60分間確保することにより、1日の生活リズムを整える取組を各学校で行い、生活習慣の改善を図ります。</p>

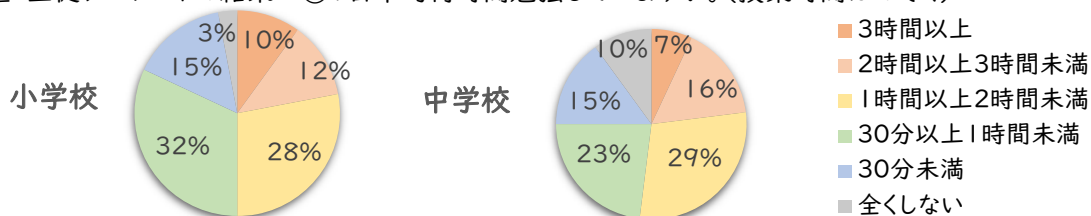
主な取組【担当課】		取組実績
1	グッドモーニング60分の取組【指導課】	各学校が、生活習慣改善週間等を設定するなど、児童・生徒が1日の生活リズムを整える取組を行った。また、取り組んだ結果を振り返り、児童・生徒が今後の生活習慣の改善に向けた目標を定め、目標達成に向けた実践を行った。
2	地域の教育力の活用【指導課】	各学校の教育課程の実施に当たっては、アキシマエンスの市民図書館や地元の企業を活用するなど、地域の人的・物的資源を活用した教育活動を行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	家庭と連携した取組や、地域資源の活用による教育活動により、児童・生徒の資質・能力を育むことができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	

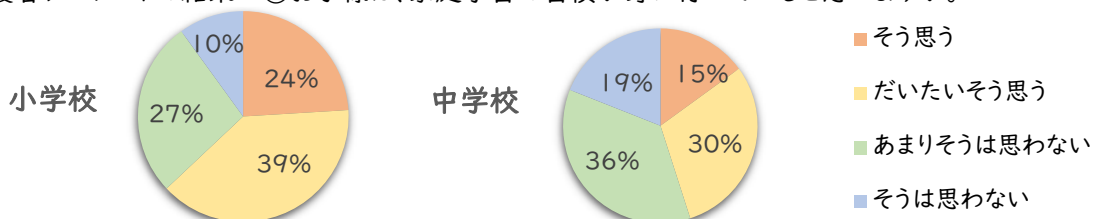
主な課題
家庭学習が定着していない児童・生徒が一定程度いる。
今後の取組の方向性
家庭学習に意欲的に取り組めるよう、タブレット端末による学習コンテンツの活用や調べ学習など、学習形態や内容を工夫し、より良い学習習慣づくりに取り組んでいく。また、児童・生徒が主体的に生活習慣を整えることができるよう、各学校でグッドモーニング60分の取組を継続して行っていく。

(参考資料)

児童・生徒アンケートの結果 ⑥1日平均何時間勉強していますか。(授業時間はのぞく)



保護者アンケートの結果 ⑤お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。



基本施策4-4	担当課	指導課
学校の教育力の向上		

<p>施策の方向性</p> <p>よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会で共有し、子どもたちが、社会や世界と関わり合い、たくましく人生を切り拓いていくための資質・能力を育むため、保護者や地域の方々の学校参画を促し、社会に開かれた教育課程を通して学校の教育力の向上を図ります。</p> <p>教育課程の実施に当たっては、地域資源の活用や社会教育との連携を図り、学校教育その他の学校運営の状況について、自己評価、学校関係者評価を行い、その結果を学校の教育力の向上に生かします。</p>

主な取組【担当課】		取組実績
1	教育推進計画(HDSプラン)の着実な実施【指導課】	平成30年度から学校評価の様式と教育推進計画の様式を統合し、学校経営のPDCAサイクルに生かしている。2月の教育課程届出相談において成果と課題を確認し、その内容を踏まえ各学校において次年度の教育課程を作成した。
2	スクールインターンシップ事業の実施【指導課】	近隣の大学と連携・協力し、小学校5校が教員を目指しているスクールインターンシップの学生を8名受け入れ、教育活動の活性化を図った。
3	職層に応じた研修や校内研修の実施【指導課】	職層に応じて、4月に新任主幹教諭、新任主任教諭、5月に新任副校長を対象とした研修を実施した。また、初任者から3年次教諭を対象に集合研修や授業観察訪問等を実施した。各学校では授業力の向上を図るため、授業研究や協議会を設定し、校内研修を実施した。
4	持続可能な学校運営の推進【指導課】	「学校の働き方改革実施プラン」に基づき、学校閉庁日を3日間、定時退庁日の設定など、ワーク・ライフ・バランスの実現に努めた。また、部活動指導員、スクール・サポート・スタッフ等の配置により、教員の負担軽減を図った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	教育推進計画で各校が設定した目標や方策に対して、取り組んだこと(取組指標)が、学力調査や児童・生徒、保護者アンケートにより成果(成果指標)となって表れた学校が昨年度より増えた。これは、学校が講じた手立てが児童・生徒の望ましい変容を引き出し、指導力が向上した学校が増加したと判断するため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	

<p>主な課題</p> <p>教育課程の実施に当たっては、地域資源の活用や社会教育との連携を強化し、学校の教育力を向上していく必要がある。</p> <p>働き方改革については、外部人材の活用をはじめ、教員の負担軽減を着実に図っていく必要がある。</p>
<p>今後の取組の方向性</p> <p>令和5年度に小学校2校と中学校1校によるコミュニティ・スクールの試行実施を開始する。その成果と課題を踏まえ、今後の展開について検討していく。</p> <p>中学校部活動についても、部活動地域移行検討委員会を令和5年度から開催し、本市にとって望ましい形を検討していく。</p>

(参考資料)

▼教育推進計画(HDSプラン)(例)

令和〇年度 昭島市立〇〇学校 学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】

学校教育目標	◎よく考え やりぬく子 ○思いやりのある 心豊かな子 ○進んで体をきたえ 健康な子	【目指す学校像】 ○子供の可能性を引き出す	【目指す児童・生徒像】 ○自ら考え、主体的に学	【目指す教師像】 ○人権感覚を磨き了俊を大切にする教師 ○常に向上心をもち指導力向上に努める教師 ○公務員としての自覚をもち信頼される教師
--------	---	--------------------------	----------------------------	--

取組指標と成果指標の評価が等しい状態が、学校が正しく自己評価できていることになるため、望ましい状態。

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な学習内容の定着を図ると	授業改善推進プランを基に日常の授業を充実させる。 家庭学習の定着及び	授業改善推進プランに基づいた指導を週ごとの指導計画に位置付けた ①家庭学習の	4:全数 3:ほとんどの指導計画に位置付けた 2:指導計画に位置付けた 1:指導計画に位置付けた 0:指導計画に位置付けない	3	4:学力調査の平均点が 3:学力調査の平均点が 2:学力調査の平均点が 1:学力調査の平均点が 0:学力調査の平均点が	2			C	

取組指標は、経営目標及び具体的方策に基づき学校(教職員)が取り組むことについて記載。
指標は「2」を現状として4段階の数値による評価基準を3学期に設定する。

成果指標は、経営目標及び具体的方策によって期待される成果について記載。学力調査の結果や児童・生徒、保護者アンケートの結果等による指標で、具体的な数値目標。
指標は「2」を現状として4段階の数値による評価基準を3学期に設定する。

▼令和4年度「昭島市立学校教育推進計画」の数値目標及びそれぞれに対する実績について(令和5年昭島市教育委員会第5回定例会 報告事項2)

<https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/1000/880/hokoku1.pdf>

▼コミュニティ・スクール

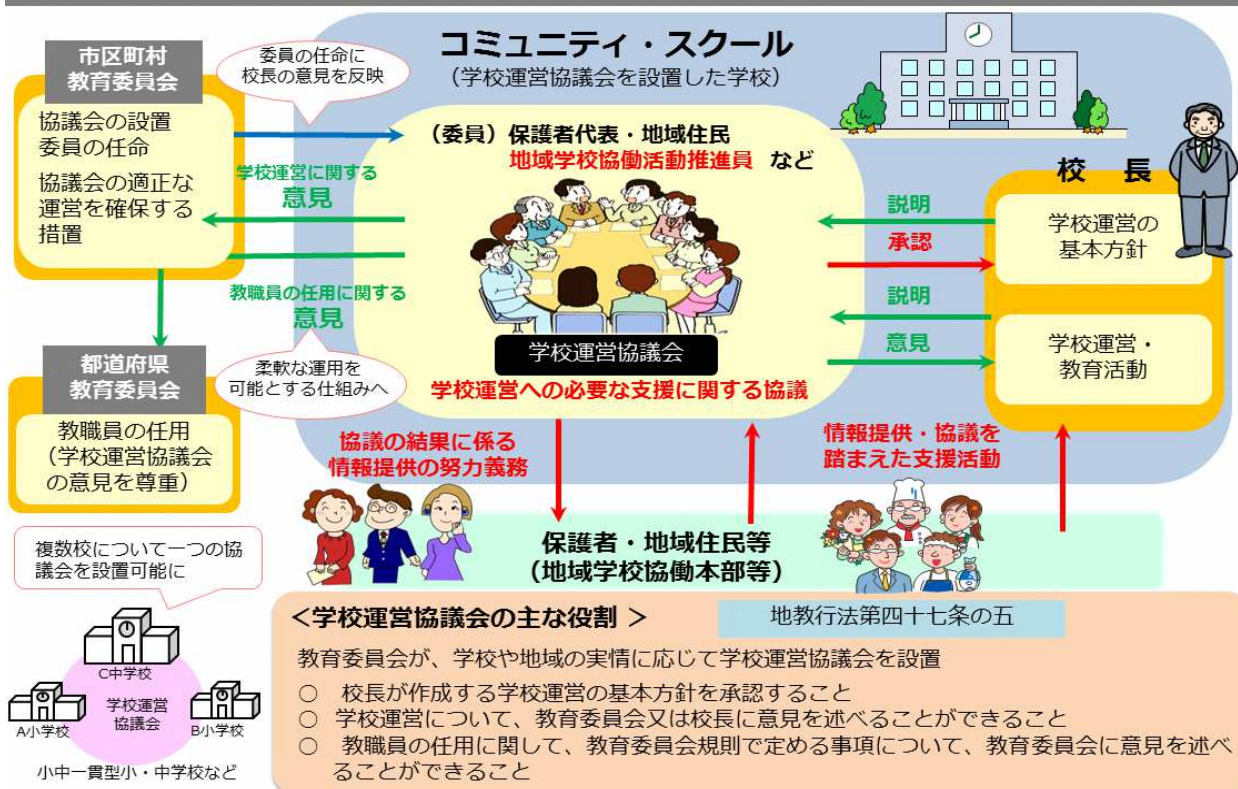
文部科学省ホームページより引用

ホーム > 国の取組 > 地域と学校の連携・協働 > コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/chiiki-gakko/cs.html>

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



基本施策4-5	担当課	教育総務課
教育環境の整備		

<p>施策の方向性</p> <p>子どもたちが安全で快適に学校生活を送り、効果的な学習活動ができるように施設や設備、教材の維持・整備を計画的に行います。</p> <p>また、国のGIGAスクール構想の実現のため、学校におけるICT機器の整備や情報通信ネットワーク環境のさらなる充実を図ります。</p>
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	学校施設の大規模改修工事の計画的実施 【教育総務課】	拝島第一小及び武蔵野小の外壁等改修、成隣小及び清泉中の便所改修などの工事を実施した。
2	学校施設・設備の維持及び整備 【教育総務課】	冷暖房機、プール浄化装置、消防用設備などの保守点検や、快適な学習環境の確立に向けた修繕を実施した。また、学校プールのあり方について、多角的な検討を実施した。
3	校内防犯体制の整備 【教育総務課】	不審者等対策として市内全小・中学校にネットランチャーを設置しているが、従前に購入したものの使用期限をむかえることから、全校分新たに購入した。
4	学校ICTの整備 【教育総務課】	教職員の利用するパソコンについて、老朽化による処理速度の低下が進み、故障が多くなったため、校務に支障をきたすことがないよう、パソコンの更新を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	施設や設備の維持・整備、ICT機器の整備を計画的に行った。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
<p>(ア) 学校施設の大規模改修工事の計画的実施 学校施設の老朽化が進み、大規模改修工事を行わなければならない施設が多々ある。</p> <p>(イ) 学校ICTの整備 学校ICT機器の活用が進むにつれて、更なる校内ネットワーク環境の増強が必要となる。</p>		
今後の取組の方向性		
<p>(ア) 学校施設の大規模改修工事の計画的実施 小・中学校個別施設計画に基づき実施し、学校運営に支障が出ないよう施設を整備する。</p> <p>(イ) 学校ICTの整備 老朽化により動作不良が発生する大型ディスプレイの入れ替えを実施する。</p>		

(参考資料)

【学校施設の大規模改修工事の計画的実施(便所改修)】



▲成隣小学校



▲清泉中学校

【学校施設の大規模改修工事の計画的実施】

(令和5年度実施予定の主な施設整備等事業)

学校名	整備内容
田中小学校	大規模改造(自閉症・情緒障害固定学級整備)工事
清泉中学校	大規模改造(西側便所改修)工事
福島中学校	大規模改造(外壁等改修)工事
	大規模改造(太陽光発電設備設置)工事
昭和中学校	除湿温度保持機能復旧工事
	防球ネット設置工事
中神小学校	大規模改造(便所改修)工事設計委託

【学校ICTの整備(パソコン等の更新台数)】

品名	付属品	数量
ノートパソコン	光学式マウス、キーボード、セキュリティワイヤ	732
デスクトップパソコン	マウス、キーボード	19
カラーインクジェットプリンタ(職員室)	電源ケーブル	19
カラーインクジェットプリンタ(校長室)	電源ケーブル	19

基本施策4-6	担当課	指導課
情報教育の推進		

<p>施策の方向性</p> <p>スマートフォンなどの情報通信技術の向上によるSNSの普及や、人工知能(AI)の急速な技術革新により、人々のライフスタイルや価値観の大きな変化に対応した教育や学習機会を提供することが必要です。</p> <p>また、平成29(2017)年に告示された学習指導要領においては、初めて「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力として位置付け、教科等横断的にその育成を図り、必要なICT環境を整え、適切に活用した学習活動の充実を図ることが示されました。</p> <p>これらを踏まえ、各学校では、GIGAスクール構想による一人1台のタブレット端末の活用により、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びの実現を目指します。</p> <p>また、タブレット端末や図書館を利用した学習を通して、子どもたちの情報活用能力や情報モラルについての指導を推進します。</p>

主な取組【担当課】		取組実績
1	タブレット端末の活用の推進【指導課】	各小・中学校の授業において、学習に必要な情報を取得したり、考えを可視化して共有したり、学習内容をまとめたりするなど、様々な場面で活用することができた。授業以外の場面でも活用が広がっている。
2	教員研修の充実【指導課】	年に6回の「ICT担当者連絡会」を設定し、大学教授を招聘した研修、研究授業を基にした研修や協議、プログラミング教材の実技研修等を行うことで、情報活用能力の効果的な育成に向けた研修を深めた。
3	情報モラル教育の推進【指導課】	校長会、副校長会、各主任会、ICT担当者連絡会等を活用し、情報モラル教育の充実に向けた啓発を行った。また、令和3・4年度 昭島市研究指定校の富士見丘小学校の研究発表会を通して、研究成果の啓発を行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各小・中学校で、様々な工夫を図り、活用場面を広げることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	

<p>主な課題</p> <p>タブレットの活用に向けた操作スキルの向上が図られていることを生かし、系統的な指導や有効な活用について、さらに検討する必要がある。また、どの学校でも、同水準の情報活用能力の育成が図られるよう、研修を深めていく。</p>
<p>今後の取組の方向性</p> <p>9年間を見据えた系統的な指導を行うために、ICT担当者連絡会の取組や小中連携教育の取組を生かし、共通理解を図りながら指導力を向上させる。ICTの活用について、児童・生徒が主体的に考え、よりよい使い方を話し合い、実践につなげていけるよう指導の改善を図る。</p>

(参考資料)

GIGAスクール通信

学校でのタブレット端末を活用した取組をご紹介します
東小学校タブレット端末活用の取組

■子どもたちの ICT 活用と ICT 教育■

児童一人一人が、タブレット端末を使って学ぶことに慣れるため、問題解決の場面でタブレット端末を活用しています。実際に使っていくことが大切であると考え、子どもたちに活用方法を伝えて、調べたり、まとめたり、伝えたりする際に、ICTを活用します。授業のみならず、係活動や行事、クラブ活動などでも活用しています。変化の激しい時代、予測困難な時代にも、自分らしく生きるためには、臨機応変にうまくICTを活用し、問題を解決していく必要があります。こうした資質・能力は、学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の育成に役立ちます。

本校では「授業」「行事」等の多くの場面でタブレット端末を活用した取組を実施しています！



5年生 算数

発表ノートで自分の考えをタブレット端末から先生に提出。友達考えも共有できます。



6年生 総合的な学習の時間

日光移動教室のまとめをスライドで作成し、発表を行いました。



2年生 係活動

生き物の写真を撮っています。撮った写真を基に、クラスで生き物を紹介します。



2年生 朝の時間

「くじらーニング」で個別学習に取り組んでいます。



学習指導要領の一層高度な実現のための一人一台の端末活用、令和の東小型学校教育を構想し実践していきます。

▲学校でのタブレット端末活用の取組例の紹介（教育・青少年だより「エール」5号より）

令和3・4年度 昭島市教育委員会
 研究指定校研究発表会の御案内
 (チラシ) ▶

令和4年12月 吉日

昭島市教育委員会教育長 山下 秀男
 昭島市立富士見丘小学校校長 稲垣 達也

各教育委員会教育長 機
 各学 校 長
 関 係 各 位

令和3・4年度 昭島市教育委員会 研究指定校
 研究発表会の御案内（最終案内）

研究主題
創造力・表現力に富み
正解のない課題に
納得解を導く児童の育成
 言語力・課題解決力・情報活用能力を働かせた
 探究的な学びを通して

令和5年 2月17日（金）
昭島市立富士見丘小学校
ハイフリット開催 事前申込制（裏面参照）

14:00～ 受付開始
 14:30～ 研究発表
 15:00～ パネルディスカッション
 16:30 終了

ふじみ
探究
 正解のない課題に
 納得解を導く
ふじみ探究
メソッド
 学習の基盤となる
 資質・能力を育成

【言語分科会】

学校図書館活用を中核として、すべての学びの基盤となる「言葉の力」を育成する。

A1 読解力（論理的思考）
 A2 読解力（感性・情緒）
 A3 読解力（仮え合い）
 A4 学校図書館の利活用

【課題解決分科会】

自分で考え、自分の言葉で表現し、対話や協働を通して、納得解を生み出す力を育成する。

B1 自ら「問い」を立てる
 B2 フィールドワーク
 B3 思考ツール
 B4 ふり返り・自己評価

【情報分科会】

ICTを活用した情報活用能力を育成し、論理的に思考し、新しい価値を創造する力を養う。

C1 情報機器の基本的操作
 C2 情報活用力
 C3 プログラミング的思考
 C4 情報モラル

パネルディスカッション『学びの基礎力を育成するために』

【コーディネーター】	全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー	藤田 利江 先生
【パネリスト】	東京学芸大学 准教授	大村 龍太郎 先生
	東京学芸大学 准教授	増田 謙太郎 先生
	全国学校図書館協議会 前理事長	森田 盛行 先生
	放送大学客員准教授	塩谷 京子 先生
	北里大学 研究員	上田 敏佳 先生
	昭島市教育委員会 指導主事	荒武 宗一郎 先生
	富士見丘小学校 校長	稲垣 達也

【問い合わせ】昭島市立富士見丘小学校 〒196-0031 昭島市福島町 890 Tel 042-541-0055
 副校長 府金 博之 J R青梅線 東中神駅下車 徒歩5分

基本施策4-7	担当課	指導課、教育総務課
環境教育の推進		

<p>施策の方向性</p> <p>自然に親しみ、自然を大切にすることを育成するとともに、地球環境の保全について考え、行動できる教育を推進します。</p> <p>また、学校・家庭・地域の連携・支援体制を確立し、環境教育のより一層の充実を図ります。</p>
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	持続可能な社会づくりに向けた教育の推進【指導課】	総合的な学習の時間をはじめ、各教科等、学校教育全体でSDGsの視点を意識した学習活動を実践することができた。
2	環境月間における環境教育の推進【指導課】	各教科等の学習と移動教室の事前事後の学習等を関連付けながら、環境について学ぶ機会を設定し、環境教育を推進した。
3	太陽光発電設備の設置【教育総務課】	発電量の掲示による再生可能エネルギーや創電といった環境行動の意識付けとして、令和5年度に福島中、令和6年度に拝島第二小に太陽光発電設備を設置するための設計委託を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	様々な教育活動の中で、環境教育の推進が図ることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
<p>主な課題</p> <p>環境教育を推進するにあたり、世界的な規模で考えるべき内容と、自分自身が取り組む内容を整理するなど、知識の獲得と具体的な実践を両立させていく指導の工夫が必要である。</p>		
<p>今後の取組の方向性</p> <p>総合的な学習の時間や各教科等を関連付けて取り組むことで学びを深めるとともに、児童・生徒が自分のこととして問題解決を図れるように、地域と連携した身近な取組について充実させていく。</p>		

(参考資料)

ごみ問題について考える ～拝島第三小学校 4年生「総合」の授業～



昭島市の小・中学校では、持続可能な社会づくりに貢献する資質・能力を育むため、全教育活動にSDGsの目標を関連させた学習を展開しています。その内の一つとして、拝島第三小が「総合」の授業で実施した「ごみ問題について」を紹介します！

授業は、環境コミュニケーションセンターや清掃センターで働く昭島市職員が講師となり、前半では、ごみ減量の取組、昭島のごみ事情、7分別収集のことなどを学びました。後半は、児童が家庭から持ってきたごみを7分別に仕分ける体験、清掃車の起動スイッチを押す体験や清掃車を見学しました。仕分け体験では、ごみに表示されているプラスチックや紙ごみのマークを確認したり、ペットボトルのラベルをはがしたり、分別を真剣に考え仕分けしていました。質問の時間にも、「海洋プラスチックを減らすにはどうしたらよいか」や「ごみ収集車はいくらかかるのか」など様々な視点から質問をし、積極的に知ろうとする姿があり、児童は熱心に話を聞き、メモを取っていました。

ごみについてもっと知りたい方は、市ホームページをご確認ください。→



▲「総合」の授業例（教育・青少年だより「エール」3号より）

【太陽光発電設備の設置】



▲瑞雲中学校の掲示例



▲田中小学校の掲示例

基本施策4-8	担当課	指導課、教育総務課
国際理解教育の推進		

<p>施策の方向性</p> <p>グローバル化が進展する中で、子どもたちが広い視野をもち、外国の言語や文化について理解を深め、世界の人々と協調しながら生きていく態度を身に付けることを目指し、国際理解教育を推進します。</p> <p>また、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる基礎的な力を育てるために、小・中学校において外国語によるコミュニケーション能力の育成を図ります。</p>
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	実用英語技能検定の受検機会の確保 【指導課】	中学校第3学年を対象として、各中学校で実用英語技能検定を実施した。事後に生徒を対象としたアンケートを行い、課題や今後の方向性を明確にした。
2	英語村を活用した実践的活動の充実 【指導課】	小学校第6学年及び中学校第2学年を対象として、英語村(TGG)の施設を活用した体験活動を実施した。また、実施後、児童・生徒対象のアンケートを実施し、成果と課題を分析した。
3	平和教育の充実 【指導課】	小・中学校の教科等の指導においては、社会を中心に、平和な社会的関係の在り方を考えたり、世界の人々と緊密に繋がっていたりすることへの理解を図った。9～10月にかけては、中学校全校で、「原爆と人間展」の巡回パネル展示を実施した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	外国語活動における外部人材の活用や体験活動により、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。また、実用英技能検定を通して英語学習に対する意欲を高めることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
実用英語技能検定や体験活動等実施後の児童・生徒の学習意欲を、持続させ学習に結び付けるために、各学校が授業改善等により工夫した取組を行う必要がある。		
今後の取組の方向性		
実用英語技能検定や英語村(TGG)での体験活動を、継続して実施する。また、平和教育については、教科等の学習を中心に、「原爆と人間」展の実施や外部講師を招いた講演等を活用して、推進する。		

(参考資料)

▼公費負担により実用英語技能検定を受験した人数

級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	合計
人数	3	37	120	364	142	107	773

▼ 立川英語村における体験活動の様子（教育・青少年だより「エール」5号より）

「立川英語村」(TOKYO GLOBAL GATEWAY) で体験学習を実施 GREEN SPRINGS

令和5年1月、立川市にオープンした体験型英語学習施設「立川英語村(TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS)」において、市内の小学校6年生全児童と中学校2年生全生徒が、外国とほぼ同様の環境で英語学習を行いました。

立川英語村には、英語レベルに応じた様々なプログラムがあり、子どもたちは授業で習得した英語力を実際の場面で使い、海外生活を疑似体験して楽しみながら英語を学びました。

今後も、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できるよう、小・中学校において外国語によるコミュニケーション能力の育成を図っていきます。



▲富士見丘小学校児童の体験の様子



▲オープン時に視察に来た小池都知事と昭和中生徒
(写真右：東京都提供)

☆詳しくは指導課へ

基本施策4-9	担当課	指導課、各課
キャリア教育の推進		

<p>施策の方向性</p> <p>社会環境がめまぐるしく変化する中で、子どもたちが希望をもって自立的に自分の未来を切り拓いていくためには、社会の変化に対応していく力や態度、望ましい勤労観・職業観を育てていくことが重要です。各学校では、「キャリア教育 全体計画」に基づき、計画的にキャリア教育を推進し、子どもたちが将来への夢をもてるようにするとともに、望ましい勤労観・職業観を育成します。中学校では職場体験を引き続き実施し、子どもに働くことの意義について理解を深めさせます。</p>
--

主な取組【担当課】		取組実績
1	職場体験受入事業所の確保・拡大【指導課、各課】	昭島市環境配慮事業者ネットワークに所属する企業や、市役所の各課にも事業所を確保・拡大し、中学校全6校で、3日間の職場体験を実施した。
2	キャリア・パスポートの活用【指導課】	各学校において、学年初めや学期末、学校行事後に、学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返ることで、新たな学習や生活への意欲につなげるために、キャリア・パスポートを活用した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	職場体験の中学校全校実施により、勤労観・職業観を育成することができた。また、キャリア・パスポートの校種間の連続した活用により、学習や生活への意欲を持続させることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
<p>主な課題</p> <p>職場体験の受入事業所については、全ての生徒が希望する事業所で体験できるよう、更に確保・拡大を行っていく必要がある。</p>		
<p>今後の取組の方向性</p> <p>地元の企業や市役所の各課に働きかけることで、事業所の確保・拡大を行う。また、進路指導主任会等で情報交換を行い、各学校からの情報を基に事業所の拡大を行う。</p>		

(参考資料)

▼キャリア・パスポート

[6]学年 学年始記

今の自分

名前

☆今の自分を書いてみよう!

将来の夢

自分の長所

好きなこと

苦手なこと

☆こんな6年生になりたい!

こんな自分になりたい!	そのためにやること!
学習	
生活	
委員会、クラブ活動、係	
習い事、地域の活動	

基本施策4 輝く未来に向かって

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁	
1 幼・保・小・中が連携した教育の充実		B	38,39	
2 日本の伝統・文化に関する教育の充実		B	40	
3 学校、家庭、地域・社会との連携・協働		B	41	
4 学校の教育力の向上		B	42,43	
5 教育環境の整備		B	44,45	
6 情報教育の推進		B	46,47	
7 環境教育の推進		B	48,49	
8 国際理解教育の推進		A	50,51	
9 キャリア教育の推進		A	52	
政策指標				
自分には、よいところがあると思うと回答した 児童・生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)		令和3年度	令和4年度	令和8年度 目標値
	小学校	75.3%	80.3%	80.0%
	中学校	79.2%	80.3%	80.0%

外部評価員による評価と意見	外部評価員	山田 茂利
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。	
外部評価員の意見		
<p>基本施策4「輝く未来に向かって」の7つの基本施策は全て重要な教育課題です。この後、意見を述べますが、(言わずもがなではありますが)学校が全てを担うことはできません。教育委員会の支援と家庭、地域社会への働きかけを切に願います。</p> <p>基本施策4-1「幼・保・小・中が連携した教育の充実」は、全教職員の意識改革と連携する具体的な取組が肝要です。接続する学年(幼児、児童、生徒、教員)だけではない交流や連携を各学校・園に期待します。また、教育委員会には交流・連携に伴う課題を解決するための支援をお願いします。</p> <p>基本施策4-2「日本の伝統・文化に関する教育の充実」の一環として、市主催の各種行事により児童・生徒の豊かな情操を育むことができていることについては評価できます。一方、各学校での計画的な取組は今後の課題のようです。体験活動だけではない教科等横断的な視点での教育計画とその活動を期待します。</p> <p>基本施策4-3「学校、家庭、地域・社会との連携・協働」において、児童・生徒が基本的な学習習慣、生活習慣を身に付けるため「学力の向上」に視点をおいた取組は評価できます。しかしながら、施策の方向性として、カリキュラム・マネジメントの充実という視点から考えた時にはいかがでしょうか。主な取組としている「地域の教育力の活用」を計画的に継続的に図られることを期待します。</p> <p>基本施策4-4「学校の教育力の向上」については、自己評価Bとその理由から鑑みて、引き続き「教育推進計画(HDSプラン)の着実な実施」を期待します。なお、コミュニティ・スクールの試行実施については、大いに期待するところです。</p> <p>基本施策4-5「教育環境の整備」については、大きな予算措置を伴うものが多いことから、引き続き計画的に着実に取組まれることをお願いします。なお、学校からの意見をできるだけ尊重していただくことを併せてお願いします。</p> <p>基本施策4-6「情報教育の推進」については、教育や施策などが追いつくことができない情報技術の進展があります。そこで、基本施策4-5「教育環境の整備」と併せて、主な取組としている「タブレット端末の活用の推進」「教員研修の充実」「情報モラル教育の推進」という3つの視点からの着実な取組を期待します。</p> <p>基本施策4-7「環境教育の推進」、基本施策4-8「国際理解教育の推進」、基本施策4-9「キャリア教育の推進」は、いずれも学習指導要領「総則」第1章第2の2の(2)に示されている現代的な諸課題です。したがって、各学校においてはすでに児童や学校、地域の実態及び児童の発達の段階を考慮し、特色を生かした教育課程の編成を図られ教育活動を進められていると拝察します。ついては、教育委員会が主な取組として事業等展開されていることの充実と、併せて各学校の教育活動を支援するために引き続き学校からの意見を取り入れていただくことを望みます。</p>		

生涯学習の推進

基本施策Ⅰ 文化芸術活動の促進

<p>文化芸術は、人々に感動や喜び、精神的安らぎをもたらし、創造性を育むとともに、心豊かな潤いのある生活や、豊かで個性ある地域社会の形成に寄与するものです。それゆえ文化芸術に対する市民の関心と理解を深める必要があります。</p> <p>そこで、誰もが芸術作品を身近に鑑賞できる機会の充実を図り、文化芸術に係る市民の自主的な活動への支援を行うとともに、文化活動の成果を発表する機会の提供に努めます。</p> <p>また、昭島市文化芸術推進基本計画に基づき、観光、まちづくり、国際交流、教育、産業、福祉など幅広い分野との連携を図りながら、文化芸術を通して多様な交流を推進します。</p>

基本施策Ⅰ-Ⅰ	担当課	市民会館・公民館
文化芸術活動への支援		

主な取組【担当課】		取組実績
Ⅰ	市民文化祭の実施 【市民会館・公民館】	10月8日から11月3日にかけて演奏、演芸、展示など26部門に分かれ実施した。延べ来場者数：9,566人。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	コロナ禍により参加部門及び来場者がコロナ前に比べ停滞しているものの、参加部門・来場者とも前年度より増加に転じている。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
<p>(ア) 来場者について コロナ禍以前に比べ来場者が減少している。文化芸術に関心と理解を深めるためにも、来場者を増やすための新たな取り組みが必要である。</p> <p>(イ) 参加団体数について 参加団体の高齢化により出展・出場者がコロナ禍以前より減少している。新たな参加団体をどのように取り込んでいくか検討する必要がある。</p>		
今後の取組の方向性		
<p>(ア) 来場者について 広報あきしま、公民館だより、ツイッター、ホームページ等によりPRをしているが、来場者増を図るため、さらにPR方法を工夫するとともに、見るだけではなく参加型の催しを取り入れて来場者増を図る。</p> <p>(イ) 参加団体数について 公民館等市内で活動している団体に積極的に参加を促すとともに、SNSなどを利用して参加団体の増加を図る。</p>		

(参考資料)



◀@akishima_komin
(昭島市民会館・公民館公式Twitterアカウント)



▲昭島市民文化祭チラシ



昭島市民文化祭(ショータイム)▲



▲昭島市民文化祭(華道展)



▲昭島市民文化祭(フラフェスティバル)



▲昭島市民文化祭(山野草展)

令和4年度 昭島市民文化祭 日程表

	10月										11月	
	8日(土)	9日(日)	14日(金)	15日(土)	16日(日)	22日(土)	23日(日)	29日(土)	30日(日)	31日(月)	2日(水)	3日(祝)
KOTORI ホール	歌謡祭			民謡の つどい	芸能祭	邦楽の しらべ	フラフェス ティバル	合唱祭	音楽祭			ショー タイム
小ホール				平和展	器楽祭	<---- 華道展 ---->		朗読の つどい	人形劇 の集い			講談・落語
展示室 会議室	<-- 手工芸展 -->		<----- 平和展 ----->			<----- 俳句展 ----->			<----- 美術展 ----->			
		囲碁大会		<--- 陶芸展 --->			人形劇 の集い	<--- 書道展 --->		<----- 写真展 ----->		
						<----- 山野草展 ----->		<--- 科学展 --->				
						<----- 盆栽展 ----->						
					<----- 短歌展 ----->							

※開会式はKOTORIホールにて、10月8日(土)午後1時より行います。

基本施策1-2	担当課	市民会館・公民館
文化芸術に接する機会の充実		

主な取組【担当課】		取組実績
1	文化芸術に関する講座・講演会の実施【市民会館・公民館】	市民が気軽に音楽に親しむ機会として、ふれあいコンサート実施した。 ①「ヴァイオリンとギターの響きを」 参加者数:74人 ②「Niece クリスマスコンサート ～心に響くアカペラコーラス～」 参加者数:72人
2	市民会館自主文化事業の充実【市民会館・公民館】	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、市民会館文化事業協会による歌謡、クラシック、寄席など多岐にわたる様々な鑑賞事業を実施した。 実施事業:9事業(共催事業含む。大・小ホールで実施) 延べ入場者数:5,682人(参考資料のとおり)

自己評価		評価理由
C	A… 施策の方向性以上の成果がでている	ふれあいコンサートは申し込み開始から数日で定員となり、市民の関心の高さがうかがえる。 自主文化事業の実施にあたり新型コロナウイルス感染症による不安から入場者の減少がみられる。延べ入場者数は昨年と比較して約60%増となったものの、販売率は20ポイントの減となっている。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
(ア) 来館者の年齢層が高く、若年層が少ないので、増やすためのPR方法等の工夫が必要。 (イ) 令和5年3月より、一部マスクの着用ルールについて緩和されたが、市民会館及び公民館へ足を運ぶ利用者の数は伸び悩んでおり、コロナ禍における講座や自主文化事業の運営方法等を含め見直す必要がある。		
今後の取組の方向性		
(ア) 新たな周知方法としてSNSを利用するなどし、若年層の来場者増を図る。 (イ) 講座や自主文化事業の運営については、オンライン等を活用するなど、時代に沿った運用方法への転換を視野に入れ、Wifi環境を活用したオンライン事業の取組などを模索していく。		

(参考資料)

令和4年度昭島市市民会館主催 ふれあいコンサート
～ヴァイオリンとギターの響きを～
令和4年8月20日(土)
場所:公民館 小ホール
出演 水野 紗希(ヴァイオリン) 山下 俊輔(クラシックギター)



開場 午後1時30分
開演 午後2時～3時30分
定員 80名 入場無料
要事前申込
申込 7月20日から公民館へ
市内在住・在勤・在学の方優先

水野 紗希さんプロフィール
東京都出身。昭島市立昭島高等学校卒業。同大で経済学を専攻し、大学在学中から2015年1月まで「高嶋あき子」12人のヴォーカルユニットのメンバーとして活動するほか、近年ではテレビ番組にも出演している。
クラシック音楽に傾倒し、ソプラノやオペラ、カンパ、ジャズなどのジャンルを幅広くセッションにも積極的に取り組んでおり、絶賛を博している。

山下 俊輔さんプロフィール
長崎県出身。昭島市立昭島高等学校卒業。2006年にオーストラリアへ渡り「山下俊輔」名義でデビュー。現在はCD制作中。
第10回「CLL」優勝、第10回「アムステルダム」優勝、その他にも2022年「アムステルダム」優勝、「完全な人間」で賞状の活躍中。
2013年から海外公演を行っておりニューヨーク、ロスアンゼルス、ロンドンなど、海外でも高い評価を得ている。

◆演奏予定曲
「龍馬伝」「情熱大陸」「愛の挨拶」ほか

申込・問合せ先 昭島市公民館 ☎042-544-1407

令和4年度昭島市市民会館主催 ふれあいコンサート
Niece クリスマスコンサート
～心に響くアカペラコーラス～
Niece:ファミリーアカペラグループ
2022年12月24日(土)
★時間:開場午後1時30分 開演午後2時
★会場:昭島市公民館小ホール
★定員:80名 入場無料 要事前申込
★申込:11月18日から公民館へ
市内在住・在勤・在学の方優先



演奏予定曲 Joyful joyful (映画「天使にラブソングを2」より)・We are the world・青春の輝き ほか

[Niece] 本牧美夏(自他)と3人の親(藍と紗)からなるアカペラグループ。「Niece」は英語で「娘」のことです。
Blue's「UNDERWORLD TOUR」コーラス、二重奏作品の放映ライブ「お祭りのクリスマス 2019、2021」コーラス、Zweiの楽曲「運命 FEVER」コーラスに参加、毎年12月には有楽町駅前センターでライブを実施しています。

申込・問合せ先 昭島市公民館 ☎042-544-1407

▼市民会館自主文化事業 9事業（共催事業含む）

No.	場所	事業名	公演日時	入場者数
1	大ホール	ストリングオーケストラで聴く映画音楽	7月9日(土)午後3時	270
2	小ホール	真夏の小さな音楽会	7月31日(日)午後2時	105
3	大ホール	丘みどりコンサート2022～演魅vol.3～	8月27日(土)午後3時	772
4	〃	NHK公開収録「みんなDEどーもくん!」	9月11日(日)午後3時	622
5	〃	劇団四季「人間になりたがった猫」	9月17日(土)午後1時	997
6	〃	第16回昭和の森音楽祭	10月2日(日)午後1時	1,001
7	〃	でんじろう先生の学べる科楽劇場	11月6日(日)午後1時 午後4時	693 473
8	〃	NAOTOアコースティックコンサート	12月10日(土)午後3時30分	226
9	〃	第72回昭島寄席「新春初笑い」	1月15日(日)午後2時	523

▼公民館だより(年6回発行)

昭島市トップページ > 施設情報 > 公民館 > 公民館事業・講座情報 > 公民館だより > 公民館だより

<https://www.city.akishima.lg.jp/s129/010/020/020/010/20141004002136.html>

あきしま 公民館だより No.209
2022.4.1号 (掲載月1日発行)

～お願い～ マスクの着用、検温、手指の消毒の徹底にご協力をお願いします。
今後の新型コロナウイルス感染症状況によって、対応が変わる場合があります。

令和4年度の
主な公民館事業

公民館は、市民の皆さんの学習文化活動の拠点として多くの功に
利用されています。今後も市民の皆さんとともに、利用しやすい公
民館づくりを目指してまいります。そこで、令和4年度の主な事業を
紹介します。

市民講座

- ☆家庭教育セミナーは、子育てや教育問題をも市民の皆さんとともに考えます。
- ☆教養講座は、歴史文化セミナー、シニア講座を実施します。
- ☆夏休みに子どもたちを対象としたわくわく体験教室を実施します。

市民大学

- ☆第10期第2年次課程が5月から始まります。
- ☆市民大学修了団体の連合組織「市民大学フォーラム」がまちづくりや環境問題などをテーマとした連絡講座を企画・運営します。

地域公民館事業

- ☆市立公民館など、市の公民館施設に出向き、時間調整会・趣味教養講座・地域情報講座・夏休み親子映画会などを開催します。

障害のある青年の交流講座

- ☆障害のある青年が月2回程度の交流を通して仲間づくりをします。
- ほかにも、障害児保育者連絡会や、公民館利用者懇話会などがあります。

自主企画事業

- ☆市民団体が、社会や文化にかかわる講座を企画・運営します。

おくじ

- P2～ 障害のある青年の交流講座の参加者を募集 / 令和4年度市民文化祭 参加団体を募集 / 令和4年度 子育てセミナー【子どもの健やかな育つためのヒント】
- P3～ 【ひととき】公民館運営協議会活動報告 / 夏休み親子映画会 実施団体を募集 /
- P4～ 公民館利用申請受付開始日(お盆の日)等のご案内 / 公民館のホールの特別利用制度について / 公民館だよりは次の場所でご覧いただけます

基本施策1-3	担当課	企画政策課、社会教育課、アキシマエンス管理課、市民会館・公民館
多様な主体と連携した文化芸術活動の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	文化芸術を通じた多様な交流の推進 【企画政策課、社会教育課 アキシマエンス管理課、市民会館・公民館、各課】	行政・企業・芸術家の協力により設置した「昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園」について、引き続き運営支援を行うことにより、文化芸術を中心とした地域の活性化に努めた。 市民文化の啓発や、芸術祭の開催などを実施している、昭島市文化協会に対し補助金を交付した。 日本の文化芸術を通して外国の方と交流を図る事業として「日本の良いとこ再発見!~和の心を五感で体験~」を実施した。折り紙や浴衣の着付けなど日本の文化を学ぶとともに、外国の方との交流を図った。
2	文化芸術活動団体への支援 【企画政策課、市民会館・公民館】	昭和の森芸術文化振興会との共催で、第15回あきしま市内芸術家公募展及び芸術家の卵展を開催した。(来場者数等は参考資料のとおり) 文化芸術活動を行っている公民館登録団体に対し、公民館の使用料を免除し、活動場所の提供に努めた。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	彫刻園や芸術家公募展・芸術家の卵展により、企業や芸術家等との連携した文化芸術活動の促進という成果を得ることができた。 文化芸術活動団体への支援の一つとして、会議室や付属設備の使用料を免除し、利用者からは一定の評価をいただいている。 市内在住の講師や公民館活動団体、市内のボランティア団体との連携により、講座を実施することができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
「日本の文化芸術を通じた交流」をテーマにした講座では、外国の方の参加はあったものの、回により参加人数にムラが生じた。今後も開催するにあたり、恒常的に外国の方の参加者をどう確保していくか検討が必要である。		
今後の取組の方向性		
引き続き、彫刻園の運営支援や芸術家公募展・芸術家の卵展の共催を行い、より多くの人に芸術作品を身近に鑑賞できる機会の充実を図るとともに、多様な主体と連携した文化芸術活動の促進に努めていきたい。 各種講座で外国の方の参加を増やすためにも外国の方自身にも講座の企画に携わっていただき、講座の内容等を検討する機会を図っていく。		

(参考資料)

「昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園」パンフレット ▶

令和4年度来場者数: 12,454人※
※8月4日から9月27日までの期間は、
落雷による計測器故障のため欠測

<https://www.june9-showa-no-mori-akishima.jp/>



昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園
AZUBIRMA SHOWA NO MORI
JUNKYU MATO SCULPTURE MUSEUM

GRAND OPENING June 9, 2019

「昭島・昭和の森」は、自然と調和した芸術空間として、市民文化の振興と地域活性化を目的として、昭島市とアキシマエンスが連携して創設された。本館は、自然の恵みを受け、市民文化の振興と地域活性化を目的として、昭島市とアキシマエンスが連携して創設された。本館は、自然の恵みを受け、市民文化の振興と地域活性化を目的として、昭島市とアキシマエンスが連携して創設された。

昭島市 市民文化振興課
アキシマエンス 企画政策課
昭島市文化協会



自然と調和の中の芸術家武藤順九作品
Junkyu Mato works in harmony with nature

武藤順九 彫刻家
1930年、東京都生まれ。1954年、東京美術学校彫刻科卒業。1957年、東京美術学校彫刻科助教授。1961年、東京美術学校彫刻科教授。1964年、東京美術学校彫刻科教授。1967年、東京美術学校彫刻科教授。1970年、東京美術学校彫刻科教授。1973年、東京美術学校彫刻科教授。1976年、東京美術学校彫刻科教授。1979年、東京美術学校彫刻科教授。1982年、東京美術学校彫刻科教授。1985年、東京美術学校彫刻科教授。1988年、東京美術学校彫刻科教授。1991年、東京美術学校彫刻科教授。1994年、東京美術学校彫刻科教授。1997年、東京美術学校彫刻科教授。2000年、東京美術学校彫刻科教授。2003年、東京美術学校彫刻科教授。2006年、東京美術学校彫刻科教授。2009年、東京美術学校彫刻科教授。2012年、東京美術学校彫刻科教授。2015年、東京美術学校彫刻科教授。2018年、東京美術学校彫刻科教授。2021年、東京美術学校彫刻科教授。2024年、東京美術学校彫刻科教授。

▼日本の良いところ再発見! ~和の心を五感で体験~

No.	事業名	開催日時	場所	参加者数
1	折り紙を学ぶ	2月3日	武蔵野会館	27
2	浴衣の着付け体験	2月10日	降雪のため延期	
3	うどん作りを体験	2月17日	公民館	17
4	己書を体験	2月24日	武蔵野会館	18
5	浴衣の着付け体験	3月17日	公民館	22

※参加者は、外国の方を含む

▼文化芸術活動団体への支援

事業名	展示数	開催日時	来場者数	場所
芸術家公募展	37作品	2/13~2/17	2,105	市民ロビー
		2/18~2/24	6,107	モリタウン
芸術家の卵展	小学生77作品 中学生207作品	2/25~3/3	7,988	モリタウン

▼「日本の良いところ再発見!

~和の心を五感で体験~」チラシ

日本の良いところ再発見!
~和の心を五感で体験~

これから選んでいく多文化共生社会に向けて、参加者間で交流し、楽しみながら日本文化を学びます!

1回目 「折り紙を学ぶ」
日時: 令和5年2月3日(金) 午後6時~8時
会場: 武蔵野会館第2・3集会室
講師: 公民館利用団体の方

2回目 「浴衣の着付け体験」
日時: 令和5年2月10日(金) 午後6時~8時
会場: 武蔵野会館 休養室、第2・3集会室
講師: 守本彩子さん(和文化マッピン グサース「わのこん」代表)

3回目 「うどん作りを体験」
日時: 令和5年2月17日(金) 午後6時~8時
会場: 公民館 実習室
参加費: 200円
講師: 大野和彰さん(麺類愛好会)

4回目 「己書を体験」
日時: 令和5年2月24日(金) 午後6時~8時
会場: 武蔵野会館 第2・3集会室
講師: 吉本明美さん(日本己書道壇 道場師範)

対象: 市内在住、在勤、在学の方(国籍は問いません!)
定員: 15名(多数抽選)
申込み: 令和5年1月5日(木)から20日(金)までに公民館で受付
(☎042-544-1407/火曜日休館)

▼「芸術家公募展」「芸術家の卵展」チラシ

あきしま市内 第15回 芸術家公募展

令和5年 2月13日(日)~17日(金) 会場: 昭島市役所1階ロビー 時間: 8:30~17:15

2月18日(土)~24日(金) 会場: モリタウン 東館1F 時間: 10:00~21:00 (最終日は20時まで)

※2月21日(日)は、モリタウン休館日のためお休みとさせていただきます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止等により、開催内容・展示時間を変更する場合があります。

主催: 昭島市/昭和の森 芸術文化振興会

お問い合わせ: 昭和の森 芸術文化振興会事務局
TEL: 042-546-1105
FAX: 042-546-1100 1300~16:00
http://www.shirayama-artists.jp

基本施策Ⅰ 文化芸術活動の促進

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 文化芸術活動への支援		B	55,56
2 文化芸術に接する機会の充実		C	57,58
3 多様な主体と連携した文化芸術活動の促進		B	59,60
政策指標			
この1年間に、音楽・演劇・美術などを外出して鑑賞したことがある市民の割合（昭島市 市民意識調査）	令和元年度	令和4年度	令和8年度 目標値
	52.7%	—	60.0%
市民文化祭の参加者数	12,625人	9,566人	15,000人

外部評価員による評価と意見		外部評価員	新藤 浩伸
外部評価員の総合評価			
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
<p>来場者数の面で厳しい評価がついている項目もありますが、コロナ禍においてやむを得なかった部分もあります。数値だけで評価するのではなく、質的な部分に注目するならばいずれも重要な取り組みを積み重ねていると考えます。</p> <p>SNSの活用など、新しい広報ツールの開拓も課題とされていますが、それと同時に、市民会館・公民館はじめ生涯学習施設が積み重ねてきた人のつながりをつくるというベースの部分も引き続き重視していただきたいです。</p> <p>このほか、Wi-fi環境を活用したオンライン事業、外国の方にも参加してもらい取り組みなど、今後に向けた課題も明らかになってきており、現代的課題に対応しながら公民館をより間口の広い施設にしていくことを期待致します。</p>			

基本施策2 文化財の保護・調査・活用

施策の方向性

地域の暮らしの中で守られ継承された文化財は、先人の知と技を伝え、個性あふれる地域文化を育み、昭島の歴史や文化の理解に必要不可欠なものです。また、「ふるさと昭島」づくりにとって重要な資産であるため、次世代に確実に継承していくことが求められます。

そこで、これらの文化遺産を後世に伝え、地域の文化遺産としての活用を図るため、その調査と研究に努め、関連する文化財の総合的な把握と長期的な視野に立った計画的な保護・保存と活用を図ります。

また、埋蔵文化財や古文書、民具等の収集を図り調査・整理・記録・保存に努め、適切な管理とデジタルアーカイブズ化を促進し、学校教育や社会教育などの場においても効果的な活用を図ります。

文化財ボランティアや郷土資料室での展示、デジタルアーカイブズ等を有効に活用し、地域の歴史や文化への理解を促進します。

基本施策2-1

担当課

アキシマエンシス管理課

文化財の保護・保存・調査・研究の推進

主な取組【担当課】		取組実績
1	郷土資料室・郷土資料展示室の展示 【アキシマエンシス管理課】	市内で発掘された土器・石器・化石類や民具・祭具などを6つのテーマの企画展で展示した。また、昭島の歴史や文化の理解が深まるICTを活用した動画を上映した。
2	埋蔵文化財の発掘調査 【アキシマエンシス管理課】	埋蔵文化財の散逸を防ぐため、宅地開発等に伴う遺跡範囲の確認調査を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	コロナ禍においても企画内容を工夫し来館者の興味を引く展示ができた。 埋蔵文化財発掘調査は、3件の確認調査（試掘）のほか8件の立会調査を実施し包蔵地の確認ができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
旧郷土資料室展示品及び旧昭和中学校木造校舎に収蔵していた民具や出土遺物はアキシマエンシス校舎棟へ移送したが、旧拝島第四小学校に収蔵している民具と併せ、大量の民具の整理と展示に向けた適切な管理及び民具の利活用方法の検討が必要である。		
今後の取組の方向性		
旧拝島第四小学校に収蔵している民具もアキシマエンシスに移送し一括管理するとともに、これまでコロナ禍により中断していた、郷土資料展示室における触れる展示を再開し、小学生の施設見学等に供する。 郷土資料室、郷土資料展示室の恒常的な展示を避けるため、これらの収蔵資料を、分野ごとに特化した企画展示を実施するなど創意工夫をすることでリピーターの絶えない施設運営をし、文化財保護思想の普及、啓発を図りつつ、内外から人を呼び込む観光資源としての機能をもつ文化財発信拠点となるよう努めていく。		

(参考資料)

▼1郷土資料室・郷土資料展示室の展示

郷土資料室企画展	展示期間	入場者数
駒形神社祭礼道具展	4月1日～7月17日	10,443
新指定文化財2点		
あきしまの鉄道	7月20日～10月10日	12,208
収蔵資料展	10月12日～12月11日	5,208
ギョッ!?!とするような魚たち	12月13日～1月29日	3,958
民具展	1月31日～2月5日	546
東中神祭礼道具展	2月7日～3月31日	4,951

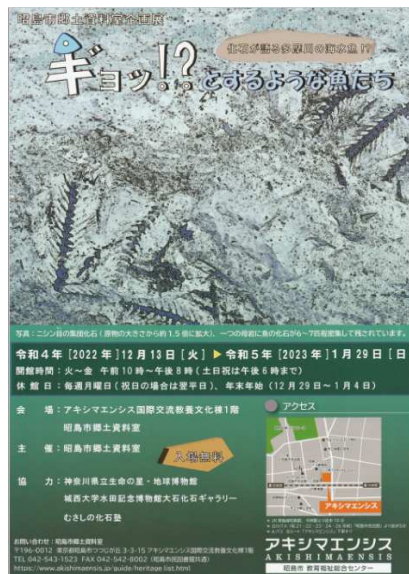
▼「駒形神社祭礼道具展」

パンフレット



▼「ギョッ!?!とするような魚たち」

パンフレット



▼「東中神祭礼道具展」

パンフレット



▼2埋蔵文化財の発掘調査

埋蔵文化財発掘確認調査箇所

山ノ神遺跡	6,339.36㎡
経塚下遺跡	370.50㎡
滝ノ上遺跡	456.00㎡

※宅地開発等に伴う遺跡範囲の確認調査

▼掘削作業の様子



基本施策2-2	担当課	アキシマエシス管理課
文化財の活用と継承の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	市史・文化財資料図書の発刊・頒布 【アキシマエシス管理課】	昭島近代史調査報告書の10冊目、『小河内ダムの移転者たち 一昭島がなぜ最多かー』を刊行した。1957年完成の小河内ダム工事では多くの住民が水没などで移転、中でも昭島が最大の移転者を数えた。その要因と苦難の歴史をわかりやすく解説した。
2	デジタルアーカイブズの充実 【アキシマエシス管理課】	デジタルアーカイブズの新たなコンテンツとして、郷土資料室の展示をバーチャル空間で楽しめる『昭島市郷土資料室バーチャルツアー』と、『空から昭島市を見てみよう!(ドローン空撮遺跡史跡マップ)』を作成し、公開した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	昭島市近代史調査報告書Xは発刊後すぐに完売し増刷をした。デジタルアーカイブズの新コンテンツも閲覧者の興味をそそる仕上がりとなったため
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
平成30年の文化財保護法の改正により、地域における文化財の計画的な保存・活用の促進、個々の文化財の確実な継承に向けた保存活用制度の見直し、地方文化財保護行政の推進力強化について規定され、文化遺産を後世に伝え、地域文化遺産として活用を図るため、その調査と保護・保存が課題となっている。 また、市史編さんにおいては、これまで近世までを主軸とした編さんに留まっていることから、今後は、近現代を中心とした市史編さん事業について検討する必要がある。		
今後の取組の方向性		
未指定の有形・無形文化財の市の指定と、都指定にすべく東京都と協議を重ねる必要がある。今後も文化財保護審議会を中心に新指定すべき文化財を調査、検討していくとともに、市登録制度の検討をしていく。 昭島市近代史調査報告書を継続するとともに、近代史を中心とする市史編さん事業について、事業の方向性と文化財の総合的な事前調査について検討する。		

(参考資料)

▼1市史・文化財資料図書の発刊・頒布

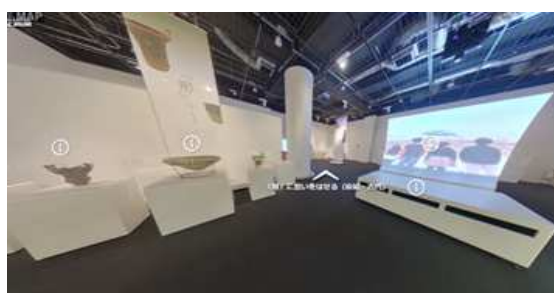
昭島市近代史調査報告書X
「小河内ダムの移転者たち 一昭島がなぜ最多かー」

発刊数:1,000部
頒布数:474部
料金:600円



▼2デジタルアーカイブズの充実

昭島市デジタルアーカイブズのイメージ画像



基本施策2 文化財の保護・調査・活用

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 文化財の保護・保存・調査・研究の推進		B	62, 63
2 文化財の活用と継承の支援		B	64
政策指標			
郷土資料室・郷土資料展示室の入場者数	令和2年度	令和4年度	令和8年度 目標値
	47,028人	39,675人	50,000人

外部評価員による評価と意見		外部評価員	新藤 浩伸
5	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。			
2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。			
1 … 施策の推進に全く至っていない。			
外部評価員の意見			
<p>アキシマエンシスを拠点に、最新のデジタル技術も活用しながら市内の歴史・文化を魅力的に発信していて、活気あふれる領域になっています。近代史調査報告書が完売増刷となっているようですが、市民の歴史的関心を醸成している点も高く評価できます。観光資源としての活用も期待できますが、並行してこれまで積み上げてきた地道な調査研究活動も継続し、市史編さん事業、調査報告書の刊行など、引き続き取り組んでいくことを望みます。</p> <p>今後は、現在のハードの安定的な維持更新、ソフトの引き続きの充実という両面において、文化財の保護・調査・活用がより活性化していくことを望みます。また、各自治体で整備が進む文化財保存活用地域計画の策定なども今後ご検討いただきたいと考えます。</p>			

基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興

施策の方向性

スポーツやレクリエーションに親しむことは、体力の向上や精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進につながります。生活が便利になり体を動かす機会が減少した現代社会においては、極めて大きな意義があります。特に高齢者においては、外出機会が増えるとともに、仲間づくりなどの一助にもなっています。昨今では、健康志向の高まりにより、生涯にわたりスポーツに親しみ、個々のライフステージに応じたスポーツの楽しみ方が求められ、スポーツ・レクリエーションの種目も多様化しています。

こうした中で、市民が健やかでより豊かな生活を実現するため、「いつでも どこでも いつまでも」スポーツ・レクリエーションを親しむ地域スポーツ社会と市民の多様なニーズに応じた活動・普及促進に努め、その環境整備に取り組みます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック大会のレガシーとしてスポーツ習慣の定着に取り組みます。

基本施策3-1

担当課

スポーツ振興課

スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進

主な取組【担当課】		取組実績
1	スポーツ推進計画の推進 【スポーツ振興課】	スポーツ推進計画に掲げる数値目標達成に向け、様々なスポーツ・レクリエーション活動を開催した。
2	スポーツ推進委員によるスポーツの推進 【スポーツ振興課】	第138回、第139回市民健康づくり歩け歩け運動を3年ぶりに実施。ボッチャ昭島カップ開催に向けボッチャ体験会を実施した。
3	障害者スポーツの普及 【スポーツ振興課】	障がい者スポーツの普及に向け第1回ボッチャ昭島カップを開催した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	新型コロナウイルス感染症の影響により参加者が少なくなりましたが、感染防止対策を徹底することで多くの取組みができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、様々な制約を受ける中各種取組みができた。感染症分類引き下げ後のイベント開催方法について、検討が必要である。		
今後の取組の方向性		
新型コロナウイルス感染症への制限が緩和されることから、スポーツ推進計画に掲げる数値目標達成に向け事業を展開していく。特に障害の有無にかかわらず誰でも参加することのできるインクルーシブスポーツの普及に向け事業を展開していく。		

(参考資料)

▼主な取組1、2、3 参加人数等

事業名	開催数	参加人数	チーム数
スポーツ教室	20教室	6,660	-
市民健康づくり歩け歩け運動	2回	66	-
ボッチャ体験会	13回	213	-
ボッチャ昭島カップ	1回	43	11



▲健康いきいき体操の様子



▲ボッチャ昭島カップの様子

基本施策3-2	担当課	スポーツ振興課
スポーツ・レクリエーション環境の整備		

主な取組【担当課】		取組実績
1	運動施設の整備 【スポーツ振興課】	砂入り人工芝コート(オムニコート)の張替え工事や総合スポーツセンターB棟外壁等改修工事を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	計画通りに事業を実施することができた。また、突発的に発生したA棟屋上防水シートの修繕や河川敷駐車場の応急修繕など、緊急時にも対応することができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
老朽化が進む総合スポーツセンターA棟の修繕計画や残堀川調節池の整備などの課題がある。		
今後の取組の方向性		
公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化に向け事業を実施していくとともに、新たな運動施設の整備に向け検討していく。		

(参考資料)

運動施設の整備
(令和5年度実施予定の主な施設整備等事業)

施設名	整備内容
総合スポーツセンター	受変電設備オイル交換修繕 GHP等修繕
みほり体育館	床改修工事

基本施策3-3	担当課	スポーツ振興課
人材の育成・地域交流の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	市民体育大会の実施 【スポーツ振興課】	第68回昭島市民体育大会を実施。
2	新春駅伝競走大会の実施 【スポーツ振興課】	新たにもくせいの杜周辺周回コースを設定し、第68回新春駅伝競走大会を開催。

自己評価		評価理由
C	A… 施策の方向性以上の成果がでている	新春駅伝競走大会は新たなコースを設定し実施したが、前回大会より参加人数が減少している。また、自治会ブロック別大会が3年間開催できておらず、基本施策である地域交流の促進を図ることができなかった。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
(ア) 市民体育大会 自治会ブロック別大会が3年間開催できず、事業継承のノウハウが失われている。		
(イ) 新春駅伝競走大会 参加人数が前回大会と比べて大きく減少している。		
今後の取組の方向性		
(ア) 市民体育大会 長年続いている伝統ある事業なので、継続して実施していく。		
(イ) 新春駅伝競走大会 コロナ禍での実施となり各部門に申込数の制限を設け市外からの参加をさせない開催となったが、今後については制限等についての緩和を行い参加者増へ向け更なる周知等も行い、新コースの定着についても調整していく。		

(参考資料)

▼第68回昭島市民体育大会 競技種目、参加人数

種目名	参加人数	種目名	参加人数
陸上競技大会	147	サッカー大会	1,274
軟式野球大会	1,296	ソフトボール大会	194
卓球大会	261	テニス大会	110
ソフトテニス大会	155	インディアカ大会	97
弓道大会	31	ビーチボール大会	129
バレーボール大会	50	ゴルフ大会	277
バスケットボール大会	167	グラウンド・ゴルフ大会	73
剣道大会	154	ターゲット・バードゴルフ大会	26
空手道大会	300	武術太極拳大会	43
クレー射撃大会	13	フットベースボール大会	320
バドミントン大会	144		
		計	5,261

▼第68回新春駅伝競走大会 部門、参加チーム数、参加人数

部門名	参加チーム数	(内オープン参加数)
地域の部	62	2
地域女子の部	6	2
壮年の部	12	1
中学生男子の部	23	1
中学生女子の部	20	4



▲第68回新春駅伝競走大会

基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1	スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進	A	66, 67
2	スポーツ・レクリエーション環境の整備	B	68
3	人材の育成・地域交流の促進	C	69, 70
政策指標			
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている 市民の割合 (スポーツ推進計画 アンケート調査)	令和3年度	令和4年度	令和8年度 目標値
	53.2%	未実施	60.0%

外部評価員による評価と意見		外部評価員	新藤 浩伸
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
<p>市民体育大会が3年間開催できず、事業のノウハウ継承や地域交流の促進が課題とされていますが、特にコロナ禍以降、心身の健康維持を公的に支えていくことは重要課題となっており、スポーツ振興事業の継続実施には大きな意味があると考えます。</p> <p>オリンピックとコロナ禍を経て、スポーツをすることや観ること、またeスポーツの普及など、スポーツの多様な楽しみ方が広がっていると考えます。学校教育における児童生徒の健康維持、体力増進とならび、市民のスポーツ・レクリエーション活動を引き続き充実させていくことは、活力ある地域社会の創造にもつながるものであり、今後に期待致します。</p>			

基本施策4 図書館活動の充実

施策の方向性

昭島市民図書館基本方針・基本計画に基づき、学び成長を応援し、仕事や暮らしに役立つ、また、誰にでも利用しやすい図書館を目指し、地域や学校との連携を図りながら、図書館サービスの充実に努めます。
また、令和7(2025)年度に開設予定の(仮称)市民総合交流拠点施設内に図書館分館を設置し、東部地区における図書館機能の充実に努めます。

基本施策4-1

担当課

アキシマエシス管理課

多様な情報・資料の提供

主な取組【担当課】		取組実績
1	蔵書の充実 【アキシマエシス管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の身近な課題解決を支援したり、ブックスタートに適した図書を中心に蔵書の充実に努めた。 ・利用者のリクエストや社会ニーズを考慮した資料の整備に努めた。 ・多文化サービスの充実に努めるため、中国語、英語、韓国語、ロシア語等で記された図書を購入した。
2	電子書籍の充実 【アキシマエシス管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍所蔵数 15,143点 ・利用者数 6,909人 ・貸出数 15,606点

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	指定管理者からの提案を踏まえ、施策の方向性に沿った資料の収集を行うことができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
市民の学び成長を応援し、身近な課題解決に資する資料を中心に、電子書籍を含めた蔵書のさらなる充実に努める必要がある。		
今後の取組の方向性		
市民の様々な情報要求及び様々な言語に対応できるよう、電子書籍を含めた図書館資料の充実に努める。		

(参考資料)

【蔵書の充実】

蔵書冊数

令和3年度	令和4年度			
蔵書冊数	購入冊数	寄贈冊数	除籍冊数	蔵書冊数
430,113	18,847	356	△ 11,887	437,429

リクエストサービス

リクエスト 件数	対応内容(件)		
	自館所蔵	購入	借用
156,541	149,080	1,325	6,136

基本施策4-2	担当課	アキシマエンシス管理課
図書館利用の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	子ども読書活動推進計画の推進 【アキシマエンシス管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年生を対象に、市立小学校と連携し希望者に貸出券と貸出中の資料を印字できる「読書の記録」を交付・配布した。 ・「読書の記録」を市内在住・在学の中中学生以下の利用者に配布した。 ・おはなし会やものがたりライブ等読書習慣の定着を促す事業を実施した。 ・交流ひろば等を利用して季節展示を実施した。 ・夏休み期間に子ども向け調べもの相談コーナーを開設した。 ・中学・高校生による読書フォーラムを実施した。
2	学校図書館との連携 【アキシマエンシス管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小中学校の児童・生徒に配布されたタブレット端末から、電子書籍サービス、蔵書検索、予約システムにアクセスできる機能を設定した。 ・タブレット端末から電子書籍サービスにアクセスするためには貸出券が必要なため、市立小中学校と連携し貸出券を持っていない児童・生徒に交付した。 ・小学校へ職員を派遣し、ブックトークを実施した。 ・小学校及び中学校の司書教諭等を対象とした司書教諭等研修会を実施した。 ・児童・生徒による図書館見学 1,552人

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	図書館利用のきっかけとなるような様々な取り組みを企画、実施した。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
<p>(ア) 子ども読書活動推進計画の推進について 目標達成に向け、効果的な事業を実施する必要がある。</p> <p>(イ) 学校図書館との連携について 司書教諭等研修、ブックトーク等の学校訪問、団体貸出等の学校図書館支援を充実させる必要がある。</p>		
今後の取組の方向性		
<p>(ア) 子ども読書活動推進計画の推進について 計画に基づき様々な事業に取り組むとともに、調べる学習コンクールへの積極的な参加を促す取組を行う。</p> <p>(イ) 学校図書館との連携について 学校を訪問してのブックトークや団体貸出等の実施を継続するとともに、学校図書館運営の要となる司書教諭を対象とした研修会を実施する。また、学校の要望を反映し、調べ学習に対応した資料の収集と提供に努める。</p>		

(参考資料)



▲ 読書の記録

子ども向け調べもの相談コーナーの様子 ▶



基本施策4-3	担当課	アキシマエンシス管理課
図書館を拠点とした活動の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	図書館ボランティアとの協働 【アキシマエンシス管理課】	・音訳者講習会を実施した。 ・コロナ禍において、活発な活動を促すことはかなわなかったが、感染拡大防止に配慮しながら読み聞かせの機会を設ける等、活動が途切れることのないよう下支えした。
2	地域資料の保存 【アキシマエンシス管理課】	地域への関心を高め、地域の良さを知ることを通して愛着を育むことができるよう、地域資料の収集・保存に努めた。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	コロナ禍の制約の中、可能な範囲での取り組みを実施した。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
図書館ボランティアの活躍の場を広げ、市民が参画した図書館活動を推進するとともに、図書館を拠点とした活動を支援していく必要がある。		
今後の取組の方向性		
<u>(ア) 図書館ボランティアとの協働について</u> ・広くボランティアを募り、ボランティア講習会等を実施しスキルアップを図る。 ・図書館ボランティアと協働し、利用者教育を推進する。 <u>(イ) 地域資料の保存について</u> 郷土の歴史・民俗や行政に関するもの等多様な資料を収集し、適切に保存及び提供する。		

(参考資料)



▲音訳者講習会の様子

地域資料の所蔵点数

令和3年度	令和4年度		
所蔵数	受入数	除籍数	所蔵数
54,931	668	△ 87	55,512

基本施策4-4	担当課	アキシマエンシス管理課
誰一人取り残さない環境の整備		

主な取組【担当課】		取組実績
1	障害者用録音図書の提供 【アキシマエンシス管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ・デージー図書（録音図書のCD版）を製作（2タイトル） ・デージー図書（他の図書館からの借用含む）を貸出（223タイトル） ・サピエ（視覚障害者及び視覚による表現の認識が困難な方に対して様々な情報提供するネットワーク）利用件数（67件）
2	移動図書館の実施 【アキシマエンシス管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスステーション13か所及び東中神駅南口駅前ロータリーステーション（夜間）において、延べ282回実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	様々な状況でサービスを利用できるよう環境整備を進めるための取り組みを実施することができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
現在、移動図書館の実施において主に使用しているのは1台（もくせい2号）である。イベント開催時等の使用が主となっている「もくせい号」のより適切な活用方法を検討する必要がある。		
今後の取組の方向性		
<p>(ア) 障害者用録音図書の提供について 障害者用録音図書の安定供給及び利便性の向上を図る。</p> <p>(イ) 移動図書館の実施について 移動図書館「もくせい号」の運行により、図書館に来館することが困難な方にもサービスを提供し、利便性の向上を図る。</p>		

(参考資料)



▲デージー図書

基本施策4 図書館活動の充実

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 多様な情報・資料の提供		B	72.73
2 図書館利用の促進		B	74
3 図書館を拠点とした活動の支援		B	75
4 誰一人取り残さない環境の整備		B	76
政策指標			
市民一人あたりの貸出冊数(年間)	令和2年度	令和4年度	令和8年度 目標値
	5.6冊	6.6冊	8.0冊

外部評価員による評価と意見		外部評価員	新藤 浩伸
4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
<p>アキシマエンスを拠点に充実した図書館活動の取り組みがなされており、市民の読書活動の推進をはかる取り組みとして、多文化サービスの充実、電子書籍の充実など先進的な活動が目立ちます。文化財の展示空間も有する複合施設として、地域資料と展示の連携など、地域の学習に多方面から資することも期待されます。その他、学校と連携した子どもの読書活動推進、司書教諭等の研修などに取り組んでいる点も評価できます。今後整備予定の図書館分館も期待できます。</p> <p>今後も「誰一人取り残さない環境の整備」という視点を引き続き重視しながら、より多くの人に図書や情報へのアクセスを可能にする学びと交流の拠点になっていくことを期待したいと思います。</p>			

基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進

施策の方向性

様々な対象や課題の講座を多様な方法で開催し、「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境を整えるとともに、公共施設の多目的な活用を進め、多様な学習活動を支援します。

市民に分かりやすい生涯学習情報の提供に努めるとともに、生涯学習サポーターの養成などを促進し、地域で活動する人や団体とのつながりを広げ、市民それぞれのニーズに応じた生涯学習活動への参加を支援します。

また、学習の成果を個人の生活や地域の活動等に生かすことで、学びの意欲が向上されるよう、市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習を推進します。

基本施策5-1

担当課

市民会館・公民館、社会教育課

学習機会の提供

主な取組【担当課】		取組実績
1	公民館事業の充実 【市民会館・公民館】	子育てセミナー、教育文化セミナー、社会文化セミナー、歴史文化セミナー、男女共同参画セミナー、シニア講座、地域課題講座等を実施した。
2	パソコン教室等の開催 【社会教育課、市民会館・公民館】	デジタルデバйд対策として、中高年のためのパソコン教室や、60歳以上や初心者の方を対象にしたスマホ講座等を複数回、市内全域で開催した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	市民との協働による講座を実施するなど、多種の講座を実施することができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
公民館事業では幅広い年齢層の講座参加者を想定しているが、高齢層の参加が多く、若年層世代の参加者が少ない。 パソコン教室等の実施にあたり、個々のレベルに応じた取組みが課題となっている。		
今後の取組の方向性		
市民ニーズを的確に判断するための情報収集をするとともに、ICTを活用した講座を実施していく。 パソコン教室等では、それぞれの参加者に満足していただける取組みを検討していく。		

(参考資料)

【パソコン教室等の開催 参加者数】

事業名	内容	回数	受講者数
中高年のためのパソコン教室	ワードの基本操作	3	14
ゼロから始めるスマホ教室	基本操作、カメラ・LINEの使い方	22	106
初心者のためのスマホ会	安心して使う方法、カメラ、マップ検索ほか	20	56
初心者のためのパソコン会	アップデート、写真取込ほか	8	23
市民講座(シニア講座)	「使うのが楽しくなる!初心者のためのスマホ講座」	4	12

【公民館事業の充実】

種 別	事 業	時 期	回数	人数	会場		
障害のある青年の交流講座		年間	21	22	公民館ほか		
市民講座	家庭教育 セミナー	子育てセミナー 「子どもが健やかに育つためのヒ・ン・ト」	4/21～9/1	8	9	公民館	
		教育文化セミナー 「ウクライナとロシアの歴史と社会を学ぶ」	2/2・16	2	25	公民館	
	男女共同参画セミナー	「男の介護」	3/2・15	2	20	公民館	
	社会文化 セミナー	「ひきこもる心を知る～誰もが取りこぼされない社会へ～」	12/11・18	2	56	公民館	
	歴史文化 セミナー	「歩いて学ぶ歴史と文化～旧街道紀行～（続編）」	9/7～9/28	4	30	公民館	
	シニア講座	「使うのが楽しくなる！初心者のためのスマホ講座」	12/4・25	4	12	公民館	
	子ども対象事業	夏休み わくわく 体験教室	ぶるぶるせっけんを作ろう	7/31	1	14	公民館
			タイルコースターを作ろう	8/3	1	25	
			初めての囲碁教室	8/4	1	9	
			陶芸教室	8/5・17	2	17	
			四コマ漫画を作ってみよう	8/7	1	10	
		JAXA子ども科学教室	7/29	1	26	公民館	
		冬休み親子工作教室 「～スピーカーづくり～」	12/17	1	12	公民館	
		春休み親子教室「アロマバスボムを作ろう！」	3/25	1	21	公民館	
市民大学		第10期市民大学・2年次課程（コース別学習）	5/14～3/11	71	14	公民館他	
市民大学 フォーラム 講演会	「地球にやさしいクリーンエネルギー天然ガスってなんだろう？」	9/22	1	20	昭島ガス株式会社		
	「湖底の村 小河内と昭島」	2/26	1	37	公民館		
地域公民館事業	夏休み親子映画会		8/7・13	2	58	公民館他	
	趣味教養講座「ヨガ教室」		1/14～2/25	4	20	福島会館	
	時局講演会「首都直下地震被害想定から学ぶ防災力」		10/13	1	12	緑会館	
	地域課題講座 「日本の良いこと再発見！ ～和の心を五感で体験～」		2/3～3/17	4	27	武蔵野会館 ほか	
自主企画	自主市民 講座	初歩の初歩！クラシックギター入門講座	4/13～7/20	8	30	公民館	
		楊名時健康太極拳	10/17～11/28	7	29	公民館	
共催事業	開館40周年事業記念講演「これからの公民館～withコロナ時代のなかで～」		7/3	1	60	公民館	
	開館40周年事業記念講座「まなぶ・つどう・つなぐ公民館～持続可能な活動に私たちができること～」		2/18～3/11	2	28	公民館	

基本施策5-2	担当課	社会教育課、市民会館・公民館
学習活動の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	生涯学習の機会の提供 及び支援 【社会教育課】	市や社会福祉協議会、観光まちづくり協会が実施する講座や教室、相談窓口の情報をまとめた「あきしま学びガイド」を発行し、市内公共施設等での配布やホームページでの公開を実施した。
2	社会教育関係団体の育成 【社会教育課】	社会教育委員と行政が市民の声を聴き、社会教育活動を行うのが互いに情報を共有し繋がりを作る場として6月にあきしま会議を開催した。また、2月には今後のあきしま会議の方向性を共有するためステップアップミーティングを開催した。
3	市立会館管理運営事業 【社会教育課】	市民の活動拠点や地域の情報交換の場として市民が快適に利用できるよう、やまのかみ、富士見会館において便所等改修工事を実施した。11会館の令和4年度の利用者は26,391団体、210,741人であった。
4	障害のある青年の交流 講座の実施 【市民会館・公民館】	障害のある青年が、健全な青年とともに活動し、交流を深め、共生できる社会の実現のために、開講のつどい、よさこいソーラン、ハイキング、クリスマス会など年間を通して21回実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	ソフト、ハード面で生涯学習活動の機会及び情報の提供を行い、市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習の推進が図られた。 障害のある青年の交流講座は、令和3年度はコロナ禍のため月1回の活動としたが、令和4年度は月2回開催することが出来、より交流を図ることができた。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
市民団体の活動内容、会員募集などのタイムリーな情報の提供が求められている。また、老朽化した施設の改修や備品等の入替が必要である。 障害のある青年の交流講座では職員とボランティア数人で事業を行っているが、参加者に対しボランティアが少なく、安全に活動をするうえでボランティア増を図って行く必要がある。		
今後の取組の方向性		
だれもが、いつでも、どこでも気軽に学ぶことができる環境を整えるため、快適に利用できる施設の維持管理・運営に努める。また、他市の取組を参考にするなど、市民のニーズを捉えた情報提供について研究を行う。 障害のある青年の交流講座においてはSNSを利用して情報を発信したり、大学等の教育機関と連携するなどボランティア増を図っていく。		

(参考資料)

▶「あきしま学びガイド」
昭島市の事業として行われる講座や教室などの
情報を掲載した生涯学習情報誌です。

昭島市HP> 文化・スポーツ > 生涯学習
> 講座教室 > あきしま学びガイド

<https://www.city.akishima.lg.jp/s122/040/020/080/010/20140912131648.html>

令和4年度版
あきしま学びガイド

令和4年4月1日現在の情報で、市民の方が参加できる情報を簡単に掲載しています。
新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を変更、または、中止する場合があります。
事業によっては、費用負担があります。
詳しくは、各担当へお問い合わせいただくか、「広報あきしま」をご覧ください。
問い合わせ先に電話番号の記載のないものは、昭島市役所 電話 042-544-5111 (担当・係へ)

目次	掲載内容	ページ
子どものための講座・教室、交流事業	各種講座・教室(スポーツを除く)、公民館・市民図書館・児童センター『ばれっと』の事業、学習の発表など	2
おとなのための講座・教室	各種講座・教室(スポーツを除く)、公民館・市民図書館の事業など	7
乳幼児、子どもの健康・出産・育児	離乳食講座、フレッシュママ・パパ学級、初めての歯磨き、子育て世代のライフプラン講座など	11
健康・介護・保健衛生	講座・教室・講演会、各種健康診査、介護、保健衛生	12
地域活動、防災・減災、交通安全	市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議、防災訓練(親子・一般)、交通安全、空家講習会など	14
ボランティア・福祉	ボランティア養成講座、手話講習会、手話通訳者派遣、ファミリー・サポート・センター協力会員養成講習会、知的障害者(児)ガイドヘルパー養成研修など	15
環境、農業、リサイクル	ごみ減量啓発講座、森林教室、農フォーク、フリーマーケット、図書館のリサイクル事業など	16
スポーツ・レクリエーション	子ども向け、おとな向け、スポーツの大会・イベント、野外活動施設など	17
各種相談	法律、子育て、健康など、様々な相談窓口一覧	21
展示	拜島駅自由通路での展示、郷土資料室、郷土資料展示室、市内芸術家展など	24
昭島生涯学習サポーターの会 まなぶん		25
子どもたちの学習支援&居場所づくり		26
認知症カフェ		27
生涯学習援助協力者 登録・紹介		28
イベントカレンダー	あきしま郷土芸能まつり、市民くじら祭、88歳表彰式、産業まつり、青少年フェスティバル、はたちのつどいなど	29

【ご注意】施設名を愛称などで表記しています。

- 保健福祉センター ⇒ あいぼっく
- 市民会館 ⇒ KOTORIホール
- 昭島市民球場 ⇒ ネット多摩昭島スタジアム

昭島市公式キャラクター ちかぽー

1

▼市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議



▼改修後のトイレ(やまのかみ会館)



▼障害のある青年の交流講座(よさこいソーラン練習)



基本施策5-3	担当課	社会教育課、市民会館・公民館
学習成果の活用		

主な取組【担当課】		取組実績
1	生涯学習サポーターの養成と活用【社会教育課】	第8回目となる生涯学習サポーター養成講座を開催した。また、歴代の受講生が結成した「昭島生涯学習サポーターの会まなぶん」との共催で、初心者のためのスマホ会、はじめての草木染などを開催した。
2	市民大学の実施【市民会館・公民館】	市民としての自治能力を培い、学びの成果を地域で活かせるように、学術的な学びの場として市民大学2年次を実施した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	生涯学習サポーターの会まなぶんは積極的に事業を企画し、養成講座における学習成果の活用が図られている。 市民大学では、目的としている自発的な学習を通しての自己実現、自治能力や連帯意識の形成が図られ、公民館事業の企画運営にも携わっている。卒業生においても、公民館運営審議会委員や公民館開館40周年記念事業実行委員に名を連ねるなど、様々な分野で活躍している。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 施策の成果を得るのに一部課題がある	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
主な課題		
生涯学習サポーター養成講座においては参加者が少人数であることが課題となっている。市民大学では1年次は全体での座学が中心であり受講生の負担は少ないが、2年次になるとコース別の主体的な活動になり途中で断念する方がいるので、2年次終了までサポートしていく必要がある。		
今後の取組の方向性		
生涯学習サポーター養成講座参加者の増加とまなぶんへの参加を促し、まなぶんの更なる活性化を目指し支援等を行う。 市民大学各期の卒業生で組織されている市民大学フォーラムとの連携を強化し、受講生をサポートする体制の充実を図っていく。		

(参考資料)

生涯学習サポーター養成講座とまなぶん共催事業の参加者数等

事業名	内容	回数	受講者数	
生涯学習サポーター養成講座	あきしまカルタガイドブックをつくろう	4	5	
<まなぶん共催事業>				
数楽で脳トレ	おもしろい不思議な計算ほか	10	47	148
初心者のためのスマホ会	安心して使う方法、カメラ、マップ検索ほか	20	56	
初心者のためのパソコン会	アップデート、写真取込ほか	8	23	
はじめての染色	藍染、草木染	2	22	

【市民大学の実施】

＊市民大学2年次全日程

チューター（指導・助言者）

- ・「歴史コース」：三村章先生（昭島市教育委員会嘱託近代史調査員）
- ・「福祉コース」：大島隆代先生（早稲田大学准教授）
- ・「財政コース」：大和田一紘先生（一般社団法人財政デザイン研究所代表理事）

	歴史	福祉	財政	内容
1	5月14日			「人生100年時代 生涯キャリアデザイン」 講師：大和田一紘さん
2	5月28日			「オリエンテーション・調べ学習を学ぶ」 講師：中村伸子さん（図書館振興財団）
3	6月11日			「学習をスムーズに進めるために」 講師：市民大学各コースOB・OG
4	6月25日			歴史、財政、福祉コースに分かれて10回程度の学習を通して地域課題などについて学び、小論文を作成する。
5	7月9日			
6	7月23日			
7	8月6日			
8	8月27日			
9	9月3日			
10	9月17日	福祉コース中止		
11	10月1日	10月8日 ※福祉コース		
12	11月5日	10月29日 ※財政コース		
13	11月19日			
14	11月26日 ※財政コース			講師：各コースチューター
15	12月3日			
16	12月17日			
17	令和5年1月7日 ※財政コース			
18	令和5年1月14日			「健康教育～社会参加は健康の源！～」 講師：飯塚哲子さん（東京都立大学准教授）
19	1月28日			「学んだ成果を地域に活かそう～身近な活動から学ぶ～」 講師：高山和久さん東京ボランティア・市民活動センター副所長
20	2月25日			3コース合同での発表会
21	3月4日			2年間の振り返りと今後についての話し合い
22	3月11日			修了式

※各コースの人数は、歴史コース3名、財政コース5名、福祉コース6名となっています。

基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進

教育委員会の自己評価 まとめ		自己評価	該当頁
1 学習機会の提供		B	78,79
2 学習活動の支援		B	80,81
3 学習成果の活用		A	82,83
政策指標			
生涯学習講座などの参加者数	令和元年度	令和4年度	令和8年度 目標値
	2,266人	2,263人	2,600人
公民館年間延べ利用者数	119,387人	77,759人	130,000人

外部評価員による評価と意見		外部評価員	新藤 浩伸
5	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。		
	4 … 施策は順調に推進されている。		
	3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。		
	2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。		
	1 … 施策の推進に全く至っていない。		
外部評価員の意見			
<p>2022年に開館40周年を迎えた市民会館・公民館を中核施設としながら、これまで積み重ねてきた学習機会提供の蓄積は、他自治体と比較しても厚みがあります。親しみやすいものから質の高いものまで幅広い機会が準備されている点、活動を通じて多くの市民が自主的なサークル活動に取り組み、機会提供のみならず自主的な活動の環境醸成にも資している点などがとりわけ高く評価できます。</p> <p>昭島市各部署が提供している生涯学習の機会をまとめた「あきしま学びガイド」も、行政部署を超えて一覽できる貴重な取り組みで、学習者の目線から非常に使いやすいものになっています。</p> <p>今後は、より多世代の市民、外国の方々への働きかけ、施設設備の更新など課題も見えてきています。また市内に1館しかない公民館の整備拡充（既存の会館施設を活用し、そこに職員を配置するなど）も中長期的課題としてご検討頂きたいところです。これらの取り組みを通じて、引き続き多くの市民に親しみやすい気軽に集える場所と機会が提供されていくことを期待致します。</p>			

第4章 点検及び評価に関する外部評価員からの意見

【山田 茂利 氏】（学校教育分野）

プロフィール

・帝京大学教職センター長・教育学部初等教育学科教授

<主な経歴>

東京都教育庁指導部指導主事・統括指導主事 / 昭島市教育委員会指導室長

千代田区立小学校長会会長 / 東京都小学校体育研究会会長

総評

令和4年度も新型コロナウイルス感染症感染対策を講じながら、更なる教育活動の推進に向け『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』（以下、「基本計画」）を策定し取組まれた、令和4年度の『昭島市教育委員会の事務事業に関する点検及び評価報告書』（以下、「報告書」）を拝見しますと、弛むことなく継続・発展的に教育振興に努められたことが分かりました。

また、令和4年度の「報告書」から、実績、課題、評価、今後の取組の方向性を分かりやすく記載（変更）されたことは、点検・評価報告書の目的である「効果的な教育行政の推進」と「市民への説明責任を果たすこと」につながっていると考えます。

一方、「基本計画」に掲載している施策のうち、令和4年度の点検・評価対象とした取組と施策については、その意図及び計画という点で説明が十分ではないと考えます。

例えば、取組と施策の計画（ロードマップ）を作成し、各年度の「報告書」において改善事項の進捗（マイルストーン）を確認することも考えられます。

いずれにしても、令和4年度の「報告書」に記載されているように「PDCAサイクルを意識して、着実な進行管理のもと、（中略）『基本計画』の実効性を高めていくことを目指しています。」ということが、具現化されることを期待します。

なお、事務事業に関する点検及び評価に係る外部評価・意見は、令和3年度までの施策を踏まえて令和4年度の主な取組について意見を述べます。

基本施策1 確かな学力の定着

（P.23 再掲載）

評価：4 施策は順調に推進されている。

確かな学力の定着には、指導者に係る具体的な施策と児童生徒に係る具体的な施策という両面からの方策が必要です。

このことについて、基本施策1-1「基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」では、「教職員の研修の充実」「土曜日・放課後補習の実施」と、これまで取組んでこられた施策を改善し、充実を図られていることが評価できます。

一方、課題としている『「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る指導方法の更なる工夫・改善』については、引き続き「大学との連携による授業改善の推進」において課題を明らかにしながら、成果については計画的に全校で共有することが求められます。

基本施策1-2「理数教育の充実」について自己評価はBであるものの、課題とされているように、各学校における理科、算数・数学科の授業改善は一朝一夕に成し得るものではありません。理科教育推進担当教員や小学校教育研究会理科部の教員等の連携・協力を期待します。

基本施策1-3「読書活動の推進と言語能力の育成」については、課題や今後の取組の方向性に示されているように、各学校における読書活動の推進は、市民図書館の利用や図書ボランティア等の支援が不可欠です。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、学校に配置されている図書館支援員や司書の先生方と、市民図書館との連携など計画的な取組を期待します。

基本施策1-4「個に応じた支援の充実」については、特別支援教育に係る理解教育を進められていることが高く評価できます。なお、特別支援教室及び特別支援学級教員の更なる授業力向上については、これで十分ということはありませんので、中央教育審議会で示された「新たな教師の学びの姿」の実現を期待します。

基本施策2 豊かな心の醸成

(P.30 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

豊かな心の醸成の4つの施策とともに、計画的・継続的に、課題を明らかにしながら取組まれていることが評価できます。

基本施策2-1「人権教育の推進」における性的マイノリティ等の新たな人権課題を視野に入れられていることは、今後の取組に加えていただくことをお願いします。

基本施策2-2「道徳教育の充実」は「豊かな心の醸成」の要となることです。コロナ禍においても工夫され実施した道徳授業地区公開講座などをさらに改善・充実させ、家庭、学校及び地域社会が連携して子どもたちの豊かな心を育むことができることを期待します。

基本施策2-3「体験活動の充実」については、これまで新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、教育委員会及び学校の努力で実施いただいたことは敬意を表するところです。今後、安全かつ充実した活動ができるよう、引き続き各小・中学校が計画的に実施することと、そのための教育委員会の支援をお願いします。また、福祉の心を育てるボランティア活動等については、特別活動のキャリア教育に位置づけ、児童生徒の発達段階に合わせた指導を行っていただくことを期待します。

基本施策2-4「健全育成の推進」におけるいじめ問題への対応については、これまで教育行政、学校、家庭、地域社会が連携・協力して進めてこられた施策等の継続と充実を望みます。

基本施策3 健やかな体の育成

(P.37 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

基本施策3-1「体力向上の推進」については、政策指標である「運動やスポーツをすることが好きであると回答した」児童生徒の割合が高まっていることは成果として受け止めて良いと考えます。しかしながら、体育科の授業だけで体力は向上しないことは論をまたないところです。したがって、児童生徒が運動やスポーツが好きと言う理由を明らかにして、その意識を高め、運動やスポーツがいつでもできる環境（中学校の部活動を含む）を整えていくことを期待します。

基本施策3-2「学校給食・食育の充実」については、学校給食に係る教育行政、学校がその役割を果たしていることが伺えます。一方、食育については、課題として明らかにされているように、家庭や地域と連携した取組みなくしては、望ましい食習慣など健康的な生活習慣の

形成を図ることは困難です。特に保護者へは、引き続き食育を身近にとらえる機会や情報提供をお願いします。

基本施策3-3「学校保健安全の推進」は、教育の基盤です。引き続き計画的・継続的な施策の展開及び指導の充実をお願いします。

基本施策4 輝く未来に向かって

(P.54 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

基本施策4「輝く未来に向かって」の7つの基本施策は全て重要な教育課題です。この後、意見を述べますが、(言わずもがなではありますが)学校が全てを担うことはできません。教育委員会の支援と家庭、地域社会への働きかけを切に願います。

基本施策4-1「幼・保・小・中が連携した教育の充実」は、全教職員の意識改革と連携する具体的な取組が肝要です。接続する学年(幼児、児童、生徒、教員)だけではない交流や連携を各学校・園に期待します。また、教育委員会には交流・連携に伴う課題を解決するための支援をお願いします。

基本施策4-2「日本の伝統・文化に関する教育の充実」の一環として、市主催の各種行事により児童・生徒の豊かな情操を育むことができていることについては評価できます。一方、各学校での計画的な取組は今後の課題のようです。体験活動だけではない教科等横断的な視点での教育計画とその活動を期待します。

基本施策4-3「学校、家庭、地域・社会との連携・協働」において、児童・生徒が基本的な学習習慣、生活習慣を身に付けるため「学力の向上」に視点をおいた取組は評価できます。しかしながら、施策の方向性として、カリキュラム・マネジメントの充実という視点から考えた時にはいかがでしょうか。主な取組としている「地域の教育力の活用」を計画的に継続的に図られることを期待します。

基本施策4-4「学校の教育力の向上」については、自己評価Bとその理由から鑑みて、引き続き「教育推進計画(HDSプラン)の着実な実施」を期待します。なお、コミュニティ・スクールの試行実施については、大いに期待するところです。

基本施策4-5「教育環境の整備」については、大きな予算措置を伴うものが多いことから、引き続き計画的に着実に取組まれることをお願いします。なお、学校からの意見をできるだけ尊重していただくことを併せてお願いします。

基本施策4-6「情報教育の推進」については、教育や施策などが追いつくことができない情報技術の進展があります。そこで、基本施策4-5「教育環境の整備」と併せて、主な取組としている「タブレット端末の活用の推進」「教員研修の充実」「情報モラル教育の推進」という3つの視点からの着実な取組を期待します。

基本施策4-7「環境教育の推進」、基本施策4-8「国際理解教育の推進」、基本施策4-9「キャリア教育の推進」は、いずれも学習指導要領「総則」第1章第2の2の(2)に示されている現代的な諸課題です。したがって、各学校においてはすでに児童や学校、地域の実態及び児童の発達の段階を考慮し、特色を生かした教育課程の編成を図られ教育活動を進められていると拝察します。ついては、教育委員会が主な取組として事業等展開されていることの充実と、併せて各学校の教育活動を支援するために引き続き学校からの意見を取り入れていただくことを望みます。

【新藤 浩伸 氏】（生涯学習分野）

プロフィール

・東京大学大学院教育学研究科准教授 / 昭島市公民館運営審議会委員

<主な経歴>

柏市文化財保存活用地域計画作成協議会委員 / 東京音楽大学 音楽教育専攻 専任講師
公益財団法人全国公立文化施設協会コーディネーター

総評

コロナ禍が続く中で、教育施策全体にわたり丁寧な取り組みをしてきたことが読み取れます。学校教育においては、学力の向上、ICTの活用、心身の健康維持などに意欲的に取り組んでいることがわかります。コミュニティ・スクールの試行実施、市民図書館や地元企業との連携などが注目されますが、地域社会と連携協力した学校教育の充実が期待されます。

生涯学習においては、コロナ禍以降参加人数の確保や事業のノウハウ継承が問題とされていますが、人数だけが評価の指標ではなく、各事業において市民の心身の健康、豊かさに資する取り組みが地道になされていることを高く評価したいと思います。新施設「アキシマエンシス」の引き続きの活用、ICTのさらなる導入推進、公民館の整備拡充などが今後の課題かと考えます。

今後は、いまだ不明な要素が多いコロナ禍が私たちにもたらした影響にどう対応していくか。コロナ禍の経験とその中で蓄積した知見を活かして、新しい地域社会をどうつくっていくか。それがいま学校教育と社会教育全般で求められていると考えます。

基本施策1 文化芸術活動の促進

（P.61 再掲載）

評価：4 施策は順調に推進されている。

来場者数の面で厳しい評価がついている項目もありますが、コロナ禍においてやむを得なかった部分もあります。数値だけで評価するのではなく、質的な部分に注目するならばいずれも重要な取り組みを積み重ねていると考えます。

SNSの活用など、新しい広報ツールの開拓も課題とされていますが、それと同時に、市民会館・公民館はじめ生涯学習施設が積み重ねてきた人のつながりをつくるというベースの部分も引き続き重視していただきたいです。

このほか、Wi-fi環境を活用したオンライン事業、外国の方にも参加してもらい取り組みなど、今後に向けた課題も明らかになってきており、現代的課題に対応しながら公民館をより間口の広い施設にしていくことを期待致します。

基本施策2 文化財の保護・調査・活用

（P.65 再掲載）

評価：5 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでてきている。

アキシマエンシスを拠点に、最新のデジタル技術も活用しながら市内の歴史・文化を魅力的に発信していて、活気あふれる領域になっています。近代史調査報告書が完売増刷となっているようですが、市民の歴史的関心を醸成している点も高く評価できます。観光資源としての活用も期待できますが、並行してこれまで積み上げてきた地道な調査研究活動も継続し、市史編さん事業、調査報告書の刊行など、引き続き取り組んでいくことを望みます。

今後は、現在のハードの安定的な維持更新、ソフトの引き続きの充実という両面において、文化財の保護・調査・活用がより活性化していくことを望みます。また、各自治体で整備が進む文化財保存活用地域計画の策定なども今後ご検討いただきたいと考えます。

基本施策3 スポーツ・レクリエーションの振興

(P.71 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

市民体育大会が3年間開催できず、事業のノウハウ継承や地域交流の促進が課題とされていますが、特にコロナ禍以降、心身の健康維持を公的に支えていくことは重要課題となっており、スポーツ振興事業の継続実施には大きな意味があると考えます。

オリンピックとコロナ禍を経て、スポーツをすることや観ること、またeスポーツの普及など、スポーツの多様な楽しみ方が広がっていると考えます。学校教育における児童生徒の健康維持、体力増進とならび、市民のスポーツ・レクリエーション活動を引き続き充実させていくことは、活力ある地域社会の創造にもつながるものであり、今後に期待致します。

基本施策4 図書館活動の充実

(P.77 再掲載)

評価：4 施策は順調に推進されている。

アキシマエンシスを拠点に充実した図書館活動の取り組みがなされており、市民の読書活動の推進をはかる取り組みとして、多文化サービスの充実、電子書籍の充実など先進的な活動が注目されます。文化財の展示空間も有する複合施設として、地域資料と展示の連携など、地域の学習に多方面から資することも期待されます。その他、学校と連携した子どもの読書活動推進、司書教諭等の研修などに取り組んでいる点も評価できます。今後整備予定の図書館分館も期待できます。

今後も「誰一人取り残さない環境の整備」という視点を引き続き重視しながら、より多くの人に図書や情報へのアクセスを可能にする学びと交流の拠点になっていくことを期待したいと思います。

基本施策5 生涯を通じた学習活動の推進

(P.84 再掲載)

評価：5 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでてきている。

2022年に開館40周年を迎えた市民会館・公民館を中核施設としながら、これまで積み重ねてきた学習機会提供の蓄積は、他自治体と比較しても厚みがあります。親しみやすいものから質の高いものまで幅広い機会が準備されている点、活動を通じて多くの市民が自主的なサークル活動に取り組み、機会提供のみならず自主的な活動の環境醸成にも資している点などがとりわけ高く評価できます。

昭島市各部署が提供している生涯学習の機会をまとめた「あきしま学びガイド」も、行政部署を超えて一覧できる貴重な取り組みで、学習者の目線から非常に使いやすいものになっています。

今後は、より多世代の市民、外国の方々への働きかけ、施設設備の更新など課題も見えてきています。また市内に1館しかない公民館の整備拡充（既存の会館施設を活用し、そこに職員を配置するなど）も中長期的課題としてご検討頂きたいところです。これらの取り組みを通じて、引き続き多くの市民に親しみやすい気軽に集える場所と機会が提供されていくことを期待致します。

第5章 資料

参考資料一覧

I 昭島市教育関連計画

【参照 URL、公開場所】

①昭島市ホームページ トップページ >子育て・教育 >教育委員会 >大綱と計画

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/020/020/120/010/index.html>

②昭島市ホームページ トップページ > 市政情報 > 企画・政策

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/060/070/index.html>

計画名	主管課／作成者	公開場所
昭島市教育振興基本計画	教育総務課	①
昭島市特別支援教育推進計画	指導課	①
昭島市子ども読書活動推進計画	アキシマエンシス管理課	①
昭島市スポーツ推進計画	スポーツ振興課	①
昭島市文化芸術推進基本計画	企画政策課	②
昭島市民図書館基本方針・基本計画	アキシマエンシス管理課	①

II 参考資料

教育委員会の開催日時・場所、各回の議案・協議事項・報告事項、議事録を市公式ホームページで公開しています。（議事録等は市役所でも閲覧可能です。）

昭島市ホームページ トップページ >子育て・教育 >教育委員会 >教育委員会定例会

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/020/020/140/020/index.html>

資料名	主管課／作成者	参照 URL、公開場所
令和4年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果	指導課	令和5年昭島市教育委員会第1回定例会 報告事項1 https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/1000/R501houkokul-2.pdf
令和4年度「昭島市立学校教育推進計画」の数値目標及びそれぞれに対する実績について	指導課 (各学校)	令和5年昭島市教育委員会第5回定例会 報告事項2 https://www.city.akishima.lg.jp/s111/010/020/030/010/1000/880/hokokul.pdf

昭島市教育委員会の事務事業に関する 点検及び評価報告書（令和４年度分）

発行年月 令和５年９月
発行 昭島市教育委員会
編集 昭島市教育委員会 学校教育部 教育総務課
〒196-8511
東京都昭島市田中町 1-17-1
電話 042-544-5111（代表）
FAX 042-541-4337

